

広島市立大学の魅力にアクセス!

www.hiroshima-cu.ac.jp



最新の学内ニュースから入試情報、キャンパスライフまで、広島市立大学のすべてを紹介。



# 広島市立大学

国際学部/情報科学部/芸術学部

〒731-3194 広島市安佐南区大塚東三丁目4番1号  
Phone 082-830-1500 (代) Fax 082-830-1656

[入試に関するお問い合わせ先]

事務局入試担当 Phone 082-830-1503

e-mail:nyushi@office.hiroshima-cu.ac.jp



バス 12分 (広島高速4号線)	横川駅	バス 7分	広島バスセンター
バス 13分 (広島高速4号線)			
	大塚駅	中筋駅	高速バス 38分
バス 2分	アストラムライン 20分	横川駅	JR山陽本線 5分
バス 12分		新井口駅	JR山陽本線 10分
バス 24分			JR 広島駅

### 自動車での所要時間

山陽自動車道五日市I.C.から約6分  
広島自動車道広島西風新都I.C.から約15分

2007 大学案内

# 広島市立大学

国際学部 International Studies  
 情報科学部 Information Sciences  
 芸術学部 Art





# 豊かな人間性と英知を兼ね備えた 人材を育成。

## 専門を深める 専門を広げる 三学部体制



情報科学部・情報科学研究科[博士前期課程]の内容については、文部科学省に届出手続中



広島市立大学長  
浅田 尚紀  
Naoki ASADA

広島市立大学は、広島市の都市像である「国際平和文化都市」にふさわしい大学づくりを目指して、平成6年(1994年)4月に「科学と芸術を軸に世界平和と地域に貢献する国際的な大学」を建学の基本理念として設立された、国際学部、情報科学部、芸術学部の3学部から成る大学です。各学部のカリキュラムは、それぞれの学問分野の教育・研究を通して専門性を深めると同時に、3学部の連携による総合科目や共通科目によって、幅広い視野と専門分野を超えた知識が修得できるように構成されています。

大学卒業後、さらに高度な学術研究を目指す人のために、それぞれの学部基礎を置く3研究科から成る大学院博士前期・後期課程を設置しています。また、核兵器廃絶と世界平和を実現するための研究を行う広島平和研究所を設置していることも本学の特色です。広島ので国際学、情報科学、芸術学、そして平和について学び、世界と地域に貢献する人材を目指す皆さんの入学を待っています。

### 学部

21世紀を生きるために必要な「知性」「感性」「理性」をバランス良く磨く。

広島市立大学では、21世紀を迎えて社会的要請がより強まるであろう国際、情報科学、芸術の3分野にわたる専門的な教育・学術研究機関として、それぞれに対応した国際学部、情報科学部、芸術学部の3学部を設置しました。各学部には、その社会的要請に、よりきめ細かく対応するため、学科を開設しています。

国際学部は、国際学科の1学科に集約していますが、「国際政治・平和」「公共政策・NPO」「多文化共生」「言語・コミュニケーション」「国際ビジネス」の5つのプログラムを設定しています。

情報科学部は、情報工学科、知能工学科、システム工学科の3学科で構成しています。

芸術学部は、美術学科とデザイン工芸学科の2学科で構成、美術学科は日本画、油絵、彫刻の3専攻を擁しています。各学部学科は、いずれも個性的で、幅広い知識や能力が身につくような独自のカリキュラムを編成していますが、それぞれが有機的に連携し、相互に乗り入れながら、相乗効果を発揮しています。

### 大学院

人間的な要素を高めながら、より高度で先端的な専門性を追求。

国際社会で活躍できる高度な能力をもつ研究者及び高度な専門職業人の養成を通じて世界平和に貢献します。また、多様化する国内及び国外の地域社会の発展・充実に貢献します。新しい学問領域や社会の新しい変化に対応できる感性と創造力を培い、高度な専門教育に相応した全人的人間形成を目指す教育を実施します。地域と連携し社会に開かれた教育を推進します。

### 全学共通系科目

理解・判断・表現力を専門的かつ総合的に修得。

「総合共通科目」「一般情報処理教育科目」「保健体育科目」の3分野で構成。総合共通科目では①各専門分野の複合領域②人間と文化・社会との関わり③人間と科学との関わり④創造と表現について学習します。また、一般情報処理教育科目ではコンピュータリテラシー(電子メール、情報検索、文章作成など)を、保健体育科目では健康な生活に必要な心身両面の健康づくりについて学びます。

ネットワーク社会の実学と地域社会を学ぶユニークな科目。

【情報とメディア】近年のネットワーク環境の急速な進展につれて、従来のメディアに対する概念などが急速に変化してきています。メディアの歴史を振り返り、その変化が社会にもたらした影響について考察すると共に、現代のネットワーク社会を安全に活用するためのリテラシー教育を、実例を交えながら行うことを目的としています。

【ひろしま論】広島市の歴史、行政、経済、文化などをひもといてその特色を知り、地域社会への関心を深め、地域社会の問題解決と将来の繁栄を思考できる幅広い見識をもった人材を育てることを目的としています。

「平和」について考察する本学ならではの科目。

【平和と人権A】特に「平和」の側面に焦点を当て、現代社会におけるその意識、構造、実現するための課題について探求します。広島市の被爆体験を軸に、様々な角度から平和の問題について考えます。できるだけ多方面のゲスト講師を招く予定です。

### 外国語系科目

国際人の基礎＝語学力を実践的に修得。

語学センターの最新設備機器を有効に活用。また外国人教員による直接指導、多彩な教材の利用など、ハードとソフトの両面から充実させた学習環境のもと、実践的な語学力の修得を目指します。特に学習機能を高めることによって、読み、書き、話し、考える総合的な英語力を養います。

コンピュータを使って英語のリスニング、リーディングを訓練。

【CALL英語集中Ⅰ・Ⅱ】語学センターのコンピュータを用い、主として英語のリスニングとリーディングを集中的に訓練します。通常の授業のように教員が週1回授業をするといった形態をとらず、指定された期間中(約2カ月)、自分の都合のよい時間に自分のペースで学習します。学習の開始前と終了後にTOEIC IPテストを実施し、英語力及び学習効果を測定します。

【CALL英語総合Ⅲ・Ⅳ】2年生対象 各1単位 国際学部・情報科学部 必修 芸術学部 選択

区分	科目
総合科目	地球環境論
	創作と人間
	心の健康・身体の健康
	情報社会論
	情報と企業
	情報とメディア
	ひろしま論
	平和と人権A(ヒロシマと国際平和)
	平和と人権B(現代世界と人権)
	NPO論
共通科目A	哲学A・B
	世界の宗教
	心理学
	歴史学A・B
	現代史Ⅰ・Ⅱ
	世界の文学
	法学(日本国憲法)
	政治学
	経済学
	社会学
共通科目B	文化人類学
	自然人類学
	経営学
	知的財産と社会
	数学概論
	物理学概論
	基礎物理学
	化学概論
	基礎化学
	生物学概論
共通科目C	基礎生化学
	情報科学概論
	物理・化学実験
	ドイツ概論
	油絵入門
	日本画入門
	立体造形概論
	プレゼンテーション技法概説
	デザイン工芸概論
	コンピュータ・アート
教育科目	一般情報処理A
	一般情報処理B
科目	健康科学
	体育実技Ⅰ・Ⅱ

区分	科目
外国語系科目	英語講読Ⅰ・Ⅱ
	英会話Ⅰ・Ⅱ
	英語総合Ⅰ・Ⅱ
	英語総合
	CALL英語集中Ⅰ・Ⅱ
	英作文
	CALL英語総合Ⅰ・Ⅱ
	科学英語演習Ⅰ・Ⅱ
	ドイツ語Ⅰ～Ⅳ
	フランス語Ⅰ～Ⅳ
教育職員免許状受領資格取得関係科目	中国語Ⅰ～Ⅳ
	ハンガリー語Ⅰ～Ⅳ
	ロシア語Ⅰ～Ⅳ
	アラビア語Ⅰ～Ⅳ
	イタリア語Ⅰ～Ⅳ
	スペイン語Ⅰ～Ⅳ
	日本語Ⅰ～Ⅳ
	教師論
	教育原理
	教育心理学
学芸員資格取得関係科目	教育経営学
	人権教育論
	視聴覚教育
	教科教育法(英語)A・B
	教科教育法(情報)
	教科教育法(美術)A・B
	教科教育法(工芸)
	道徳教育論
	特別活動論
	生徒指導論
学芸員資格取得関係科目	カウンセリング
	総合演習A・B・C
	教育実習Ⅰ・Ⅱ
	教育原理(※再掲)
	社会教育概論
	視聴覚教育(※再掲)
	博物館概論
	博物館経営論
	博物館資料論
	博物館情報論
博物館実習	

(平成18年度科目)

## 科学と芸術を軸に 世界平和と地域に 貢献する国際的な大学



広島市長  
秋葉 忠利  
Tadatoshi AKIBA

広島市立大学は、「国際平和文化都市の「知」の拠点——地域と共生し、市民の誇りとなる大学」を目指し、徹底した学生指導による教育と高度な学術研究の成果を地域に還元するとともに広く世界に発信しています。広島市立大学を志望し入学される皆さんにはこの目標を共有し、さらに次代を担う豊かな感性と創造力を最大限に活用して、一つの枠にとらわれない柔軟な思考、言い換えれば、複眼的思考能力を培っていただき、ここ広島で学ぶことの歴史的意味あるいはヒロシマの人類史的意味についても考える学生になってほしいと願っています。これから皆さんが創る21世紀を輝ける時代にするため、本学において充実した学びと悔いのない学生生活を送られることを心から期待しています。



International Studies

# 国際学部

[国際学科]

国際政治・平和プログラム／公共政策・NPOプログラム／多文化共生プログラム  
言語・コミュニケーションプログラム／国際ビジネスプログラム



集英社non・no編集部を訪問



カンボジアでのボランティア活動



夏期集中講座 HIROSHIMA and PEACE (16ページ参照)の授業風景

多角的に物事を追究し世界の平和と繁栄に貢献しよう。



## Admission Policy

### 求める人物像

国際学部は、こんなあなたに学んでほしいと思っています。

- 1** 21世紀の国際社会に関する学習意欲  
国際社会が抱えているグローバルな問題、地域社会で生じているローカルな問題に関心をもち、それらの解決を真摯に考える人。
- 2** 共生と境界を越える思考の追求  
学問分野、地域・国などの境界を越えて、問題を考え、その解決を探索し、寛大な精神を身につけようとする人。
- 3** 地域社会への貢献と国際的な活動の展開  
ひとりひとりが卒業後に地域社会で貢献し、さらには国際的な活動を展開していくための、しっかりとした基盤を築こうとする人。

## 教育方針

「国際学部」改革元年。進化する“手づくりの教育”。

### 「学際性」の実現に向けて

政治・文化・経済といった枠にとらわれることなく、私たちの周りや世界各地の異質で多様なものを単に知識としてではなく、多面的・複眼的に関連づけて理解するためのカリキュラムが提供されています。講義を受けるなかで国際的な視野が広がります。新しい発想が生まれます。

### 5つのプログラムの可能性

①「国際政治・平和」、「公共政策・NPO」、「多文化共生」、「言語・コミュニケーション」、「国際ビジネス」の5つのプログラムのいずれかを深く究める、②複数のプログラムを組み合わせるステップアップする、③特定の地域あるいは将来の進路など、各自の関心や将来目標に応じたあなただけのルートづくり。これらの多様な履修ができます。

### 少人数の魅力

学生数10名程度の基礎演習(1年次)から始まって、4年次で卒業論文を書くまで所属ゼミ生は数人です。教員と学生の距離が近く、友だちと協力でき、一貫した少人数ゼミが、あなたを国際学部のなかにしっかりと受けとめます。積極的に授業に参加でき、あなたを表現でき、深い議論ができます。

### 丁寧で、適切なサポート体制

学生一人ひとりの関心や目標の実現のために、教職員によるきめ細やかなサポート体制がお手伝いをします。正課の授業だけでなく課外活動を含む、豊かな大学生活は、一人ひとりが磨いてきた知性、感性、理性をもとにした独創性のある卒業論文とともに、一生の宝となるでしょう。



国際学部長 大東和 武司

いま、解決が求められている国際的・地域的なさまざまな問題があります。解決する能力を身につけるためには、いくつかの異なる学問領域がかかわることが必要です。学際的な国際学部では、多種多様なものの価値を発見し、受容し、共生できる寛大な精神を養うことができます。寛大な精神と問題解決能力は、平和の探求につながります。国際学部で育まれた総合的な人間力は、一人ひとりが定めた卒業後の進路で大きく羽ばたくための確かな基礎となるでしょう。

## 構成

国際学部

国際学科

- 国際政治・平和プログラム
- 公共政策・NPOプログラム
- 多文化共生プログラム
- 言語・コミュニケーションプログラム
- 国際ビジネスプログラム

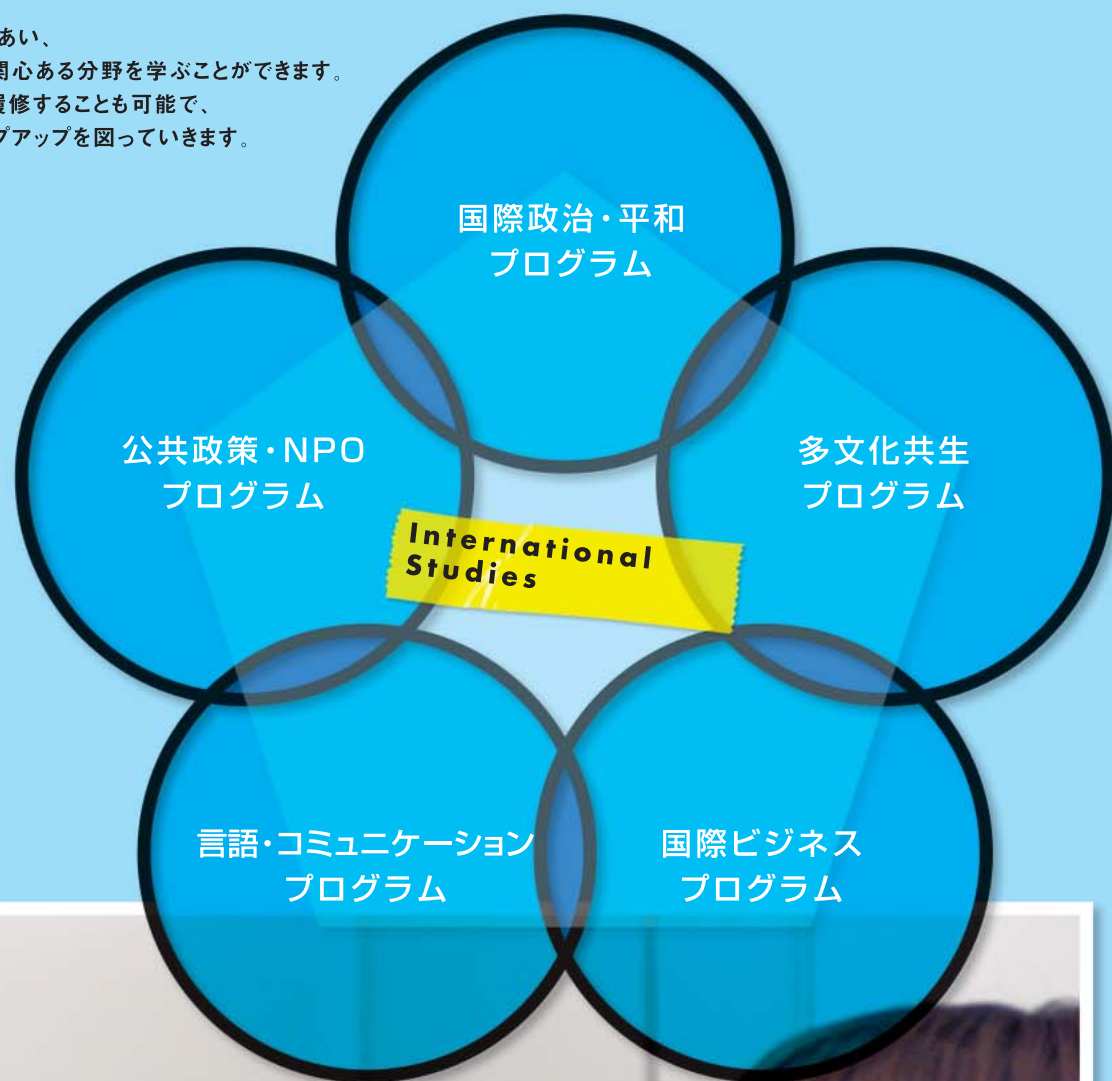
### 取得可能な資格

- 中学校・高等学校教諭一種免許状(英語)
- 博物館、美術館などの学芸員



## 5つのプログラムによる自主性と将来目標を尊重した柔軟な履修方式

5つのプログラムが互いに関連しあい、  
多面的・複眼的視点から各自が関心ある分野を学ぶことができます。  
複数のプログラムを組み合わせることも可能で、  
より広く深い学びを通してステップアップを図っていきます。



### 国際政治・平和プログラム

現代の国際社会には、紛争、テロ、難民、開発、環境などの様々な地球規模の課題があります。これらの問題を理解し、解決方法を見いだすための鍵となる国際関係の理論や歴史、そして平和研究の方法や実践について一緒に学びましょう。

#### 科目例

国際関係史入門／国際関係論／平和研究／国際法／紛争解決論／開発政治論 など

### 公共政策・NPOプログラム

望ましい社会を創造するために、人びとの生活の基礎である経済や社会のあり方について学びましょう。私たち、市民、NPO(非営利組織)、政府などの果たす役割や協力し合う仕組みを考えましょう。社会のために働きたい方を歓迎します。

#### 科目例

国際経済学入門／ミクロ経済学／財政学／現代社会と法／開発と環境／スポーツ文化経営論／NPOとまちづくり など

### 多文化共生プログラム

世界は新たな発見に満ちた知のフィールドです。国家・地域・民族・文化の垣根を乗り越え、多様な考え方もつ人々と「共に生きる」を合い言葉に、文化的対話の方法や可能性について理論と実践の両面から学びましょう。

#### 科目例

エスニシティ論／共生の哲学／異文化間心理学／ジェンダー論／マスメディア論／フィールドワーク技法／テキスト分析法 など

### 言語・コミュニケーションプログラム

言語(日本語、外国語)を基本とするコミュニケーション上の諸問題(社会問題、外国語教育・政策、言語比較、異文化理解など)について学ぶと同時に、外国語の実践能力の養成を重点的に行います。外国語学習に関心のある方を歓迎します。

#### 科目例

社会言語論／コミュニケーション技法論／比較言語論／応用言語論／翻訳論／通訳技法論／英米文学 など

### 国際ビジネスプログラム

これまでの経営学や経済学の領域で捉えられてきた問題を、国内的・国際的な幅広い視野と、文化的・社会的・政治的環境との相互関係において捉え、問題発生の予防にもつながる総合的な解決ができる問題解決型の学生を育みます。

#### 科目例

国際ビジネス入門／国際経営論／マーケティング論／財務管理論／国際会計論／国際金融論／多国籍企業論 など

1年次

全学共通科目  
総合科目・共通科目を中心に学習します。  
基礎演習  
小グループでの演習が1年次からスタートします。  
国際研究入門  
国際研究への興味関心、問題意識を喚起します。

2年次

発展演習  
学ぶ力と解決する能力を育みます。  
5つのプログラムを核とする専門科目  
■国際政治・平和プログラム  
■公共政策・NPOプログラム  
■多文化共生プログラム  
■言語・コミュニケーションプログラム  
■国際ビジネスプログラム

3年次

専門演習  
最も関心のある分野に絞り込んで密度の高い研究を行います。複数の専門演習(ゼミ)を選んで、多面的にテーマに接近することも可能です。  
専門科目  
それぞれの関心や将来設計に応じて、さまざまな専門科目が受講できます。

4年次

卒論演習  
卒業論文作成、また卒業後に向けて、温もりのあるサポートをします。教員1人に平均ほぼ2人のゼミ生。  
卒業論文  
総合的かつ多面的に履修してきた一人ひとりが見出したテーマが、統一的視点によって明らかになります。



教員  
紹介



「報道ステーション」のスタジオでゼミ研修



**教授**  
**青木 信之** 副学長  
Nobuyuki AOKI  
コミュニケーション技法論  
普段意識せずに行っているコミュニケーションが、どのような原理で成立しているかを考える。

**教授**  
**赤星 晋作** 教育経営学  
Shinsaku AKAHOSHI  
北米研究  
今まで受けてきた「教育」について振り返って。教育の問題を、学校、教師を中心に考えていきます。

**教授**  
**岩井 千秋** 応用言語論  
Chiaki IWAI  
「グローバル化 言語ととして 観てみれば 課題山積 咫尺は千里」21世紀に望みを託して。

**教授**  
**宇野 昌樹** 語学センター長  
Masaki UNO  
アラブ研究、エスニシティ論  
民族とは、アイデンティティとは、宗教とは何か？ 何故イラク戦争は起こったのか？ 皆さんと考えていきます。

**教授**  
**大井 健二** 美術史  
Kenji OHI  
心をうち、思索を促す感動体験にこそ知性と感性が会おう。人間の造形行為を史的に省みます。

**教授**  
**大東和武司** 多国籍企業論  
Takeshi OHTOWA  
国際貿易論  
国際社会のさまざまな人びとの知恵と能力の集成について、企業を通じて考えてみましょう。

**教授**  
**加藤 千代** 地域文化論(中国)  
Chiyo KATO  
中国の「伝統と現代」を両翼にして、中国の新しい魅力発見の旅に飛び立とう。

**教授**  
**上村 直樹** 国際関係史(アメリカ)  
Naoki KAMIMURA  
アメリカの歴史や政治文化も視野に、アメリカと国際社会との関係を考えてよう。

**教授**  
**坂井 秀吉\*** 開発経済論  
Hideyoshi SAKAI  
貧困問題、不平等問題、発展問題を社会的制度や経済の視点から考えます。

**教授**  
**佐藤 深雪** 日本生活史  
Miyuki SATO  
せいかいものがたりでみちあふれています。こえとからだともじでせかいにのりだそう！

**教授**  
**篠田知和基** 異文化間交渉史  
Chiwaki SHINODA  
日本と世界の洪水神話、花咲翁説話などを比較して、それぞれの文化の象徴的想像の形を追求します。

**教授**  
**塚田 健一** 音楽人類学  
Kenichi TSUKADA  
世界のさまざまな音の文化を通じて、国際人としての知性と感性を身につけよう。

**教授**  
**寺田 英子** 財政学  
Hideko TERADA  
地域社会の問題を経済学の視点から考えます。交通、まちづくり、景観等の身近なトピックを取り上げます。

**教授**  
**富永 憲生** 現代日本経済史  
Norio TOMINAGA  
日本(世界)の未来を考えるためには、日本(世界)の歴史を知ることが大切です。

**教授**  
**中島 正博** 開発と環境  
Masahiro NAKASHIMA  
自然環境と調和する持続可能な発展の条件は何か。貧困緩和のために発展途上国の開発についても考えましょう。

**教授**  
**二村 英夫** 国際金融論  
Hideo FUTAMURA  
金融論  
広い視野を持ち、島国根性を投げ捨てて、市場原理に立った国際金融を、ここ大塚の地で学びましょう。

**教授**  
**山本 雅** 地域文化論(アメリカ)  
Masashi YAMAMOTO  
アメリカと日本の関係は世界平和の要である。両者のよりよき理解こそが世界平和に貢献する。

**教授**  
**横山 知幸** 翻訳論  
Tomoyuki YOKOYAMA  
二つの言語・文化の壮絶な格闘とそこに生じる妖怪のような表現の群れをさめた目で楽しみます。

**教授**  
**薬 竹民** 言語比較論  
Zhumun LUAN  
日本語はどのような言語なのか、日本文化とどう関わっているのかを考えてみませんか。

**教授**  
**Carol RINNERT** 社会言語論  
言語比較論  
さまざまな社会的文脈の中で、私達の言葉がどのように構築されるのか勉強します。

**教授**  
**Christian LE DIMNA** 地域文化論(フランス)  
現代フランスを知ることにより文化の多様性を認識し、同時に日本と国際社会への理解を深める。

**教授**  
**Omar FAROUK** 比較政治体制論  
グローバル化を知るには、この大学で比較・国際政治を学ぶのが最も効果的かもしれません。

**教授**  
**Ulrike WÖHR** 日本研究(日本の文化)  
ジェンダー論  
私達が自明だと思いがちな「男」と「女」は、実は、社会的・文化的に構成されたものだった！

**教授**  
**Yulia MIKHAILOVA** 国際関係史(ロシア)  
日本の遠い隣国と呼ばれているロシアはこれからまた巨大な国になりますか。日露関係の「謎」と見直しはどこにありますか。この問題について一緒に考えましょう。

**助教授**  
**池田慎太郎** 国際関係史(日本)  
Shintaro IKEDA  
開国後150年の日本政治外交の軌跡をたどり、「日米同盟」や沖縄問題の未来を展望します。

**助教授**  
**池田 寛子** 地域文化論(イギリス)  
Hiroko IKEDA  
詩歌の世界を探求し、異文化理解につなげましょう。

**助教授**  
**板谷 大世** 開発政治論  
Taisei ITAYA  
東南アジア諸国は、政治的・経済的課題にどのように取り組んでいるのかを考察します。

**助教授**  
**井上 泰浩** マスメディア論  
Yasuhiro INOUE  
メディア・リテラシー  
インターネットと融合が進むテレビ、新聞、ラジオなどのメディアの実態、影響、可能性を考えましょう。マスコミ業界を目指す人も応援！

**助教授**  
**太田 育子** 国際法  
Ikuko OTA  
国際法は、あなたが世界に与えたい価値を、かたにしていけるためのツールです。

**助教授**  
**大野由未** 比較教育論  
Ayumi ONO  
これまで自明だった私たちの「学校」。世界の学校をみるとその学校観が打ち砕かれます。

**助教授**  
**大庭千恵子** 民族国家論  
Chieko OBA  
なぜ民族を理由とした紛争が起きるのだろうか。いくつもの「なぜ」を積み重ねていきましょう。

**助教授**  
**吉 沅洪** カウンセリング  
Yuanhong JI  
カウンセリングの事例と映画を通して基本的技法を学び、自分自身への気づき、他者理解、そしてよい集団づくりを体験していきます。

**助教授**  
**金 泰旭** 国際経営論  
Taewook KIM  
国際経営論では、ボーダレスに活躍できるビジネスパーソン「基礎体力」づくりを目指します。

**助教授**  
**金 榮鎬** 国際関係史(韓国)  
Yeongho KIM  
冷戦変容、政治変動、歴史認識が国際関係をどう変えるのか、変えないのかをコリア半島を中心に考えます。

**助教授**  
**潮崎 智美** 国際会計論  
Tomomi SHIOSAKI  
グローバル化の進む社会で、各国に固有なものと世界的に普遍的なものが錯綜する状況を、会計学を通じて学びます。

**助教授**  
**鈴木 健人** 国際安全保障論  
Taketo SUZUKI  
戦争・核・テロ。厳しい現実を分析しつつ、安全な世界を構築するために一緒に考えましょう。

**助教授**  
**関村 誠** 美学  
Makoto SEKIMURA  
ひとはなぜ美に引き寄せられ、芸術活動をするのかを問いあわせて、わたしたちの感性のあり方を考えます。

**助教授**  
**曾根 幹子** スポーツ文化経営論  
Mikiko SONE  
スポーツの場で現実に行き詰っている経験を読み解きながら、新たなスポーツシステムを考えましょう。

**助教授**  
**田川 玄** 比較文化論  
Gen TAGAWA  
アフリカに暮らす人々の多様な世界にわけ入ることにより、私たちのものの見方を問い直します。

**助教授**  
**高橋 広雅** 経済政策論  
Hiromasa TAKAHASHI  
政府の政策が、経済のみならず私たちの生活や社会にどのような影響を及ぼすかを研究します。

**助教授**  
**土井 悠子** ヨーロッパ研究  
Yuko DOI  
イギリスは面白い。小説を読んで、重層的なイギリス文化に触れてみましょう。

**助教授**  
**山口 光明** 健康心理学  
Mitsuaki YAMAGUCHI  
ポジティブに考えることで、より活動的で健康的な行動が実践できることについて考えてみませんか。

**助教授**  
**湯浅 正恵** 国際社会論  
Masae YUASA  
私達の日常生活から国境を越える社会関係を考えます。

**助教授**  
**吉田 晴彦** 国際協力論  
Haruhiko YOSHIDA  
国家という枠組みを超えた協力のWhy, What, Howについて、一緒に考えていきましょう。

**助教授**  
**渡辺 智恵** 通訳技法論  
Tomoe WATANABE  
日英・英日通訳を通じ、異文化間コミュニケーションの楽しさと難しさを体験してみませんか？

**講師**  
**猪口 純路** マーケティング論  
Junji INOGUCHI  
次々に登場する新製品、気になる広告、魅力を感じさせる雑貨店の品揃、日々入替るコンビニの商品など、実は身近なマーケティング。その背後にある理論を学びます。

**講師**  
**小川 一仁** 組織の経済学  
Kazuhiro OGAWA  
企業の採用行動や市場のしくみを分かりやすく教えていきます。ゲームを用いて経済理論のチェックも行っていきます。

**講師**  
**柿木 伸之** 共生の哲学  
社会文化思想史  
哲学することを通じて、今の「現実」を根拠から見つめなおし、わたしたちが「他者」とともに生きる可能性を探っていきましょう。

**講師**  
**城多 努** 財務管理論  
Tsutomu KITA  
人間と同様組織も健康第一。組織の健康を管理する、それが財務管理です。

**講師**  
**野崎亜紀子** 現代社会と法  
Akiko NOZAKI  
「法」は人を自由にする手だてです。私たちが他者と生きる営みに、法がどう貢献できるのか、この問題に取り組みます。

**講師**  
**東野 篤子** 国際関係史(ヨーロッパ)  
Atsuko HIGASHINO  
私たちがヨーロッパから学べることはなにか？ 私たちはヨーロッパとどうつきあっていくべきか？一緒に考えていきましょう。

**講師**  
**吉江 貴文** ラテンアメリカ研究  
Takafumi YOSHIE  
フィールドと思考の往復運動をとおして、ラテンアメリカ世界を身近に体験してみませんか。



\*の教員は平成18年度末に退職の予定です。



# 私の学び方

在学生から一言

多彩な学び、幅広い交流を通して積極的に自分磨き。

自由にのびのびと。知的好奇心いっぱいに興味ある分野を学び、先生や仲間たちと心をかよわせ広い視野と豊かな人間性を育てていく。国際学部には自分磨きに積極的な学生たちが集います。

国際学部 3年

小倉典子 Noriko OGURA

自分の眼で見る。“知る”ことの大切さをカンボジアで実感

開発政治問題に関心のある私は1年の夏休みにNGO主催のカンボジアスタディツアーに参加しました。現地では、小学校を訪問し一緒に遊んだり、孤児やエイズ感染児が共同生活している子どもの家で、子どもたちの世話をお手伝い。また、キャンプ場に作られた建物に子どもたちと壁画を描いたりしました。カンボジアに行くまでは、地雷や貧困といった負のイメージしか持てなかった私ですが、実際に子どもたちと交流し、その生き生きとした表情に、物の豊かさだけが幸せではないことを実感。自分の眼で見る大切さ、そして“知る”ことから開発途上国への理解も支援も始まることを学びました。これからはカンボジアをはじめ東南アジア諸国の歴史や現状について勉強するとともに、語学習得に励み、将来的には途上国における子どもたちの教育のために役立ちたいですね。



国際学部 1年

マッテオ・コンティ Matteo CONTI

母国のイタリア語、在日15年の間に磨いた日本語、そして英語、スペイン語を習得し、今、市大で国際情勢を学びながら国連の公用語のひとつであるフランス語を学習しています。僕が多様な言語の習得に励むのは、より多くの人とコミュニケーションを図り、たくさん友だちを作りたいから。また、通訳として自立し、世界を舞台に活躍したいと思うから。自分の好きな場所で自分の好きな仕事をして生きていけたら最高ですね。市大はそんな僕の夢を後押ししてくれる素敵なところ。学部を超えていろいろな授業に参加できるし、平和について考えるゼミも興味深いです。周辺の豊かな自然も大好き。寮生活やクラブ活動(軽音楽)を通してできた友だちと語ったり、お互いに手料理をごちそうしあうのも楽しいひとときですね。

多様な言語をあやつり世界を駆け回るのが僕の夢



国際学部 4年

菊池有希子 Yukiko KIKUCHI

人間の強さ、やさしさに触れ、生きる勇気をもたらした

所属するガールスカウトの活動のひとつである、海外の難民キャンプへ文房具を送る「ピースバックプロジェクト」に参加。タイのミャンマー難民キャンプを訪問し、子どもたちに文房具を配るとともに日本を紹介したり、一緒に遊んだりしました。難民キャンプでは、行動範囲が限定され、働くことも祖国に帰ることも許されません。けれど、そこに暮らす人々は厳しい環境や将来への不安をもとめず、楽しく生きようと努め、私たちにもあたたかい笑顔を見せてくれたのです。その姿に人間の強さ、やさしさを見、却って励まされたのでした。この貴重な体験は、私の学びの姿勢をさらに積極的なものに変えてくれました。もっと世界のことを知りたい…。広く深くいろいろな角度から世界を学ぶことができる国際学部の環境を活用して、私しかできない学びに挑戦しています。



『中国新聞』2006年4月29日

交換留学生

崔銀眞 CHOI Eun Jin

韓国の姉妹校である西京大学から交換留学制度を利用して1年間の予定で国際学部で学んでいます。市大に来て驚き、感動したのは、西京大学にはないゼミの存在です。ゼミでは、先生や仲間と深く関わり合いながら自分の勉強を深めていけるとともに、人間として基本的に必要な礼儀や心構えを学ぶこともできます。また、先生は、豊富な経験から私たちが気づかない視点や未知の世界のことをたくさん教えてくださり刺激いっぱいです。友だちは、考えるヒントやぬくもりをもたらしてくれます。時には厳しい意見も言ってくれるので、とても信頼できます。私はこの市大での貴重な経験を活かし、自分に妥協することなく、毎日を無駄にせず、日本と韓国の架け橋となれるような日本語教師をめざしていきたいと思っています。

先生や友だちに恵まれ刺激いっぱいの毎日です



(学生交換事業については44ページをご参照ください。)



# 私のキャリアパス

目標に向かって前進し続ける先輩たち

## 知的好奇心、全開！可能性は自ら拓く。

何をどう学び、どう将来へとつなげていくか。  
それは人に教えてもらうことではなく自ら考え、自ら動き、自ら答えをだすこと。  
国際学部の多彩な学びを通して世界をとらえる、自分を見つける。  
そこに新たな道ができる。

1999年 国際学部国際学科卒業  
本村 公一 Koichi MOTOMURA

南アフリカ共和国リンボポ州スクネネ部スキノード地区総合農村開発調査



培った“自律”の精神が、人生そして国際協力への礎に

いわゆる途上国で飢餓や紛争に苦しむ人々をテレビで見ると衝撃を受け、海外での国際協力の仕事を志すようになりました。現在、南アフリカ共和国において、国際協力機構が同国リンボポ州農業局と共同で、対象地域の貧しい人々を支援し、その実施から地域開発計画に活用できる情報と教訓を得ることを目的として実施しているパイロット（試験的）プロジェクトの運営に携わっています。難題も多く、奮闘の日々ですが、支援を受ける側の人々に押し付けの活動をするのがないよう、常に彼らの視点で物事を捉え、彼らの自立を促すことを心がけています。また、私たちの支援で一人でも多くの人が生きる力、幸せを掴む力をつけることができたなら…そう願ってやみません。そんな私を支えてくれているのが、市大で学部を超えて先生や友人たちと交わり、多種多様な考えに触れ学んだ“自律”の精神です。この“自律”の精神は、大学卒業後に経た大学院、民間商社、そして現在の国際協力の仕事においても、私の人生の揺るぎない礎となっています。



2005年 国際学部国際学科卒業  
松井 美幸 Miyuki MATSUI  
テレビ信州 アナウンサー



プレゼンテーションで磨いた人前で話す技術を活かす

「国際学」っておもしろそう。そんな単純な思いだけで市大に入学しましたが、国際政治や文化はもとより、地球環境や芸術、経済、ジェンダー学など幅広いジャンルの勉強ができ、4年間で随分と視野も将来の選択肢も広がりました。その中で、プレゼンテーションをする機会にも多く恵まれ、人前で話す難しさ、楽しさを体感。難解な言葉を使って多くの情報を提示し相手を納得させるのではなく、耳で聞いてわかりやすい、背伸びしない話し方の大切さを学んだことが、私のアナウンサーとしての第一歩です。現在、昼と夜のローカルニュース、医療番組の司会、情報ワイド番組の中継リポーターなどを担当していますが、市大で学んだことを胸に本番に挑んでいます。報道機関で働く人間の一人として感じていることは、迅速に正確な情報を視聴者に届ける重要性、そして客観的に物事を見つめる冷静さをいかに保つかで、私の課題でもあります。市大は、積極的に動けば、現在のあなたも、未来のあなたもきっとサポートしてくれるはず。私が今、そのことを強く実感していますから。



2002年 国際学部国際学科卒業  
木下 朋香 Tomoka KINOSHITA  
テンパール工業株式会社

旺盛な好奇心。議論や質問攻めで前向きな姿勢を培う

各種電気設備を取り扱うメーカーで商品の提案・販売および展示会の企画・運営を行っています。お客さまの多様なニーズを的確につかみ、それに応えていくためにどうすればよいか追求する、また、企画会議などで自分の意見を臆せず述べる。そうした姿勢を私は大学時代に培いました。例えば、映画や本、コミック、舞台など、自分が見て、読んで感じたことを友だちと議論する、自分の考えを文章にしたり、発表する。あるいは経済・文化・政治など、関心あることは何でも先生に質問するなど。それができる環境が市大にはあります。特に国際学部は、ジャンルを限定せず、物事を広く学びたい人におすすめです。



2005年 国際学部国際学科卒業  
熊丸 育美 Ikumi KUMAMARU  
日本通運株式会社

めざすは通関士。物流への興味が進路を決めた

市大で国際経済を学ぶうちに物流、特に輸出入関連に興味を覚え、物流会社への就職を決めました。この春から主に法人対象の営業活動を担当し、自社の取り扱い商品や陸送物の流れを勉強中です。将来的には、営業の経験を活かし、当初からの希望であった輸出入関係に携わりたいため、社内講習で通関士の資格取得をめざしています。大学時代に水泳部のマネージャーとして活動し、合宿所として小学校のプールを借りるお礼に、小学生を対象に水泳教室を開催。子どもたちの指導などを通して、人との接し方を学んだことも今の仕事に活かされていると思います。



2005年 国際学部国際学科卒業  
門出 万里子 Mariko MONDE  
株式会社リー・ガロイヤルホテル広島

自分から一歩を踏み出すことで研究も進路も見えてきた

大学時代、旅行で訪れた多国籍共生するマレーシアに興味を持ち、それまで決めかねていた研究の土台ができました。また、何ヶ所かのホテルに泊ったことが、「ホテル」という職場を意識するきっかけにもなり、自分から一歩踏み出せば、周りの環境を大きく変えることができることを学びました。現在は、料飲部でメニューやパンフレットの企画・作成および接客を担当しています。平和記念公園や平和記念資料館を訪れる世界各国からのお客様はもちろん、国内のお客様からの多様なリクエストに柔軟に対応するためには、広い視野を持ち、固定観念を持たずに、つねに相手の立場で物事を考えることが重要であることを実感しています。こうした心構えは、市大での授業や、他学部の友人たちとの交流を通して会得することができたと思います。



2005年 国際学部国際学科卒業  
河野 慎太郎 Shintaro KOHNO  
横河情報システムズ株式会社

文系と理系。両方の視点を養い自信をもってIT業界へ

国際学部とシステムエンジニア。一見、結びつかないかもしれませんが、高校までは理系でコンピュータに興味があり、卒業論文でもインターネットを題材に取り上げた私にとっては、自然な選択肢の一つでした。国際学部の特徴である幅広い分野の学びを活かして、食欲に知識を吸収する習慣を身につけ、また、論理的に思考するトレーニングを積み、物事をさまざまな切り口から考える経験を蓄積してきたことが、今の仕事に役立っています。与えられた役割をただこなすのではなく、その仕事の背景や位置づけを意識するために、一つ上の立場にいる人の考えや視点を理解しようと努める姿勢も、経験豊かな先生やいろいろな視点・価値観を持つ友人たちとの交流の中で育まれたのだと思います。



# TOPICS

International Studies

## 国際社会を生き抜く力を養う。

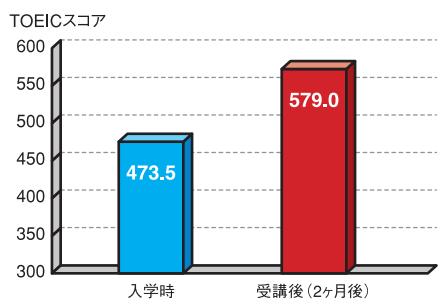
コンピュータを使って英語を徹底的に集中訓練する

### CALL英語集中

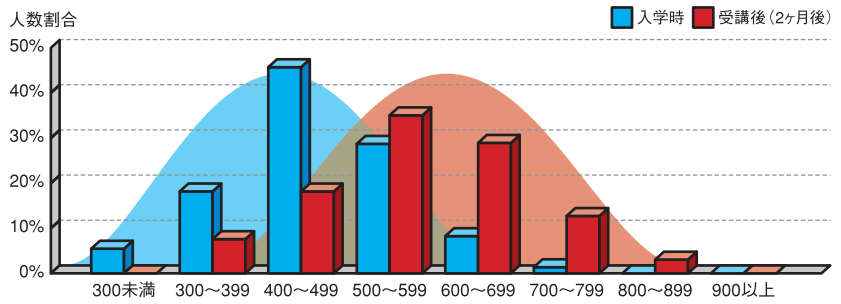
語学センターや情報処理センターのコンピュータを用い、英語のリスニング、リーディング、文法を集中的に訓練します。通常の授業のように教員が週1回授業をするといった形態を取らず、指定された期間中(約2ヶ月間)、自分の都合のよい時間に自分に合ったペースで学習を行います。学習の開始前と終了後にTOEIC IPテストを受験し、英語力及び学習効果を客観的に測定します。国際社会で活躍していくために必要不可欠な英語力を確実に高めていきます。



「CALL英語集中」履修者のTOEICスコア平均の推移



「CALL英語集中」履修者のTOEICスコア帯別人数分布



上のグラフは、「CALL英語集中」履修者のTOEICスコア平均の推移とスコア帯別人数の分布を示したものです。入学時に比べ、受講後のスコアは105.3点アップし、579.0点に伸びています。スコア帯別人数分布についても、受講後は分布がスコアの高い方に移動しており、英語力が大きく底上げされていることがわかります。

TOEIC運営委員会発行の『TOEIC®テストDATA & ANALYSIS 2004』によると、全国の大学1年生のTOEICスコア平均は387点ですが、国際学部1年生のTOEICスコアは、入学時点ですでに大学1年生の平均を大幅に上回っています。また、大学4年生の平均スコアは492点、企業が新入社員に期待するスコアは400~500点とされていますが、国際学部1年生は前期終了の時点でこれらのスコアを大きく上回る学習成果をあげています。

このプログラムは、広島市内の「まちづくり市民交流プラザ」で市民に開放されており、これまでに延べ約800名が受講。TOEICへの挑戦をはじめ、生涯学習の場として活用されています。



国際学部2年  
**金光 祐奈**  
Yuna KANEMITSU

495点 → **800点**  
(1年終了時)

効率的な学習で  
スコアアップ!

毎日1時間は学習することを自分に課し、分かるまで何度も繰り返しました。知らない文法や単語は書き留め、後で辞書などを引いて確認するようにしました。その結果、1年終了時にTOEICスコアが800点をマーク。英語への興味も高まり、ラジオ講座でリスニング力を養ったり、ネイティブ講師とスピーチの練習にも励むようになりました。今は、交換留学をめざしTOEFLに挑戦中です。



英語で学び話し、広島と世界平和を考える

### Intensive Summer Course HIROSHIMA and PEACE

毎年「HIROSHIMA and PEACE」をテーマに夏期集中講座を開講します。この授業には、本大学の協定校であるハワイ大学(アメリカ)をはじめ、毎年10カ国を超える世界各国から学生が集います。2005年は、イギリス、ドイツ、フランスなど欧米ばかりではなく、タイ、ネパール、アラブ首長国連邦からの参加もありました。学内外の講師十数人が英語で講義し、広島と平和問題を国際政治、文化などの視点から多角的に考察しディスカッションで意見を交わします。海外の学生とともに、2週間近くすべての授業を英語で受講し語り合うことは、国際交流を体験する貴重な機会となるでしょう。また、講義だけでなく、平和記念資料館見学、8月8日の平和記念式典への出席やパーティーなど、多彩なプログラムが組まれています。



ホストファミリーを交えてのウエルカムパーティー



一緒に折った千羽鶴を捧げる世界各国からの受講生



多様な意見の交換



# 情報科学部

情報工学科 / 知能工学科 / システム工学科



情報科学部 4年  
江坂 知恵 Tomoe ESAKA

## 明確な目標があれば全力投球できる力がわいてくる

入学当初から続けてきたテニス。全くの初心者だったので、まずは小さな目標を見つけ、それに向かってコツコツと練習を重ねました。目標を明確にすることは、勉強においても同じ。やりたいことがはっきりしていれば、授業は楽しいし、集中できます。希望通りに半導体メーカーに就職が内定したのも、“この会社でこんなことがしたい”とはっきりアピールすることができたからだと思います。クラブ活動は、目標の設定の仕方、そして学部を超えた多くの友人を私にもたしらしてくれました。

平成19年度から学部一括入試！  
進歩の速い情報科学分野。  
入学後、じっくり進路を決められます。



情報科学部 4年  
三倉 有喜 Yuki MIKURA

## 時間をうまく活用し専門以外の経験もたくさん積もう

学業とアルバイトの両立…。確かに実験や研究に忙しい毎日ですが、時間は自分でつくるもの。出された課題はできるだけその日のうちに終わらせるよう努力しました。おかげで集中力がつき、アルバイトでは多彩な人々の交わりを通して人とのつきあい方を学ぶことができました。現在、パソコンに知能を持たせる研究をしていますが、将来的にはそれを活かし、自分の頭で考え行動することができる「思考するロボット」を製作したいですね。今はその基盤づくりの時期だと思っています。

高度情報社会から求められる技術者・研究者をめざそう。



情報科学部 4年  
四軒家 絵美 Emi SHIKENYA

## がんばり精神とかけがえのない友だちが私の財産

2年次・3年次と大学祭実行委員として活動。大学祭を盛り上げるために仲間と一緒に企画を練り、準備に走り回って、忙しいながらも充実した時を過ごしました。達成感分かち合った仲間とは、今でも心の深いところで結ばれ、私にとってはかけがえのない財産となっています。また、企業をまわったり、社会人の方と接する機会も増えて、挨拶や礼儀など多くのことを学んだのも大きな収穫。活動を通して鍛えられたがんばり精神で社会に出てからも積極的に行動したいと思っています。



情報科学部 4年  
木原 裕治 Yuji KIHARA

## 実験や先生とのコミュニケーションを通して視野が大きく広がった！

3年生の時、2人1組でコンピュータを作る課題に取り組みました。2人で意見を交わし、試行錯誤しながら作りあげていく中で、物を作る楽しさ、喜びを知り、協調性や自主性を育むことができました。何度も失敗を重ね、完成させた時の感動は言葉では言い表せないほど。市大の先生は授業以外でも気軽に学生に話しかけ、自分の経験や知識を惜しみなく披露して下さいます。個性も豊かで、専門分野以外のこともたくさん教えていただき、物の捉え方や考え方の幅が広がってききましたね。

## Admission Policy

### 求める人物像

情報科学部では、次のような学生の入学を期待しています。

情報科学は進歩のスピードが大変速く、世界的な競争も激しい分野です。したがってこの分野に携わる人は、たゆまぬ向上心をもって新しい考えを追究し続ける必要があります。情報科学部は、この分野で自分の適性を見つけ、十分な学力や技術力を身に付けて、科学技術の進歩に貢献することを目指す気概のある学生を求めています。具体的には次の条件を満たす学生を募集しています。

- 1 自分から進んで問題を発掘し、解決する意欲を持っている学生。
- 2 情報科学の基礎である数学・理科・語学が得意な学生。
- 3 知的好奇心に富み、探究心があふ盛な学生。

### 教育方針

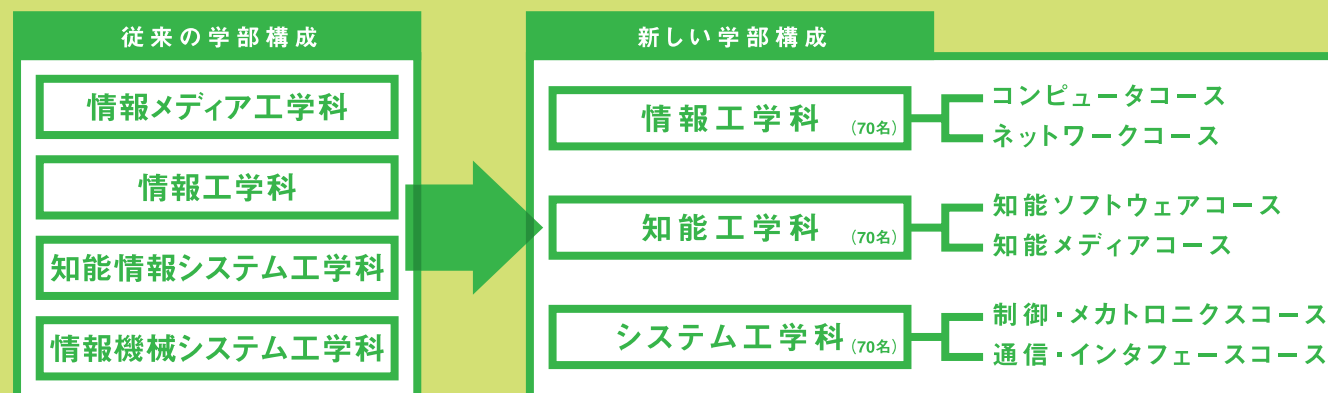
情報技術 (IT) の最先端分野で活躍できる人材を育成します。

- 情報科学の幅広い分野を学べます。
- 先端的なIT環境を道具として活用できる能力が身につきます。
- 理論だけでなく実践的な能力が磨けます。



### 構成

求める人材と育てる人物像を明確にするため  
3学科6コースに再編します。(文部科学省に届出中)



取得可能な資格

- 高等学校教諭一種免許状(情報)(数学)\*
- 博物館、美術館などの学芸員 \*数学については申請中



情報科学部長 堀居 賢樹

情報科学は情報そのものを研究する分野、情報を処理するための研究分野、情報を応用するための原理や方法を研究する分野があります。情報科学部はそのような情報科学の基礎から応用までを教育・研究の対象にしています。平成19年度から専門分野別に3学科6コースに再編します。大学院の博士前期課程(修士課程)についても3学科に対応した3専攻と、情報科学の学際・融合領域を教育研究する創造科学専攻に再編します。情報関連分野の技術者・研究者を目指す皆さんの入学を待っています。



# 新しい教育カリキュラムの構成

産業はコンピュータから通信へ、研究フロンティアは情報処理からコミュニケーションへ、研究対象は情報から知識へと変化しており、その変化の先にあるものに対応できる人材の育成を目的としています。



1年次		2年次		3年次		4年次	
前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期

2年の前期終了時に、学生の皆さんの希望や適性をもとに3学科に分かれます。その後は、6コースのカリキュラムから、さらに専門知識や技能を学びます。

4年生になると各研究室の教員から直接指導を受けながら卒業研究を行います。

## 学部共通科目

解析学Ⅰ・Ⅱ、線形代数学Ⅰ・Ⅱ、離散数学、  
情報代数、確率統計、情報基礎数学、常微分方程式、  
プログラミングⅠ・Ⅱ・Ⅲ、コンピュータ基礎、  
データ構造とアルゴリズムⅠ・Ⅱ、情報科学概論、  
情報工学概論、知能工学概論、システム工学概論、  
オートマトンと形式言語、論理回路、電気回路、物理学、  
情報科学基礎実験Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ

情報  
工学科  
(定員=70名)

知能  
工学科  
(定員=70名)

システム  
工学科  
(定員=70名)

**コンピュータコース**  
コンピュータのハードウェア、ソフトウェア、システムLSIなどを学びます。

**ネットワークコース**  
インターネット、モバイル通信、ユビキタス情報ネットワークなどを学びます。

**知能ソフトウェアコース**  
人工知能、データマイニング、ヒューマンインタフェースなどを学びます。

**知能メディアコース**  
パターン認識、画像処理、コンピュータグラフィックスなどを学びます。

**制御・メカトロニクスコース**  
最適制御、メカトロニクス、ロボティクスなどを学びます。

**通信・インタフェースコース**  
デジタル通信、組み込みソフトウェア、システムインタフェースなどを学びます。

## 学部総合科目

情報物性工学、生体センサ工学、電子光デバイス、電気磁気学、光エレクトロニクス、電気・電子材料、集積回路、機能性材料 など

1.専門分野 2.学位

コンピュータは数センチメートル角のシリコン片上に集積した数千万のトランジスタ(集積回路)でできています。機能デバイス学は自然現象を理解して、それをトランジスタのような機能デバイスとして利用するための研究をしています。

教授  
**寺田 和夫** 1機能デバイス学  
Kazuo TERADA 2工学博士

助教授  
**寺内 衛** 1機能デバイス学  
Mamoru TERAUCHI 2理学博士

助手  
**桑田 精一** 1物性理論  
Seiichi KUWATA 2博士(理学)  
**辻 勝弘** 1機能デバイス学  
Katsuhiko TSUJI 2修士(工学)

様々な物理・化学現象の謎に、情報科学の申し子たる機器制御、データ転送・解析を存分に生かした最先端計測技術で迫ります。現在は、大気化学や半導体製造プロセスに関連した分子の性質や、生体膜に関連した分子の性質を調べています。

教授  
**石渡 孝** 1レーザー化学  
Takashi ISHIWATA 2理学博士

助教授  
**福島 勝** 1レーザー分光  
Masaru FUKUSHIMA 2理学博士

助手  
**藤原 久志** 1界面の物理化学  
Hisashi FUJIWARA 2博士(工学)  
**中野 幸夫** 1大気環境化学  
Yukio NAKANO 2博士(工学)

高機能・高性能な情報処理機器や通信機器も半導体などの材料からなるデバイスを集積化して構成されています。この半導体材料の光学的、電気的性質などの物性を調べることで、それらの性質の関わる新材料・新デバイスについて研究しています。

教授  
**堀居 賢樹** 1電子光情報工学  
Kenju HORII 2工学博士

助教授  
**田中公一** 1情報物性  
Koichi TANAKA 2理学博士

助手  
**藤原 真** 1情報物性  
Makoto FUJIWARA 2博士(工学)  
**八方直久** 1情報物性  
Naohisa HAPPO 2博士(理学)

生物機能の解明と利用をめざしたバイオシステム工学的研究をしています。たとえばバイオエネルギー、廃棄物の再資源化、環境浄化、バイオ素子、人間の色覚などに関する研究を行い、各種自動機械システムを創造します。

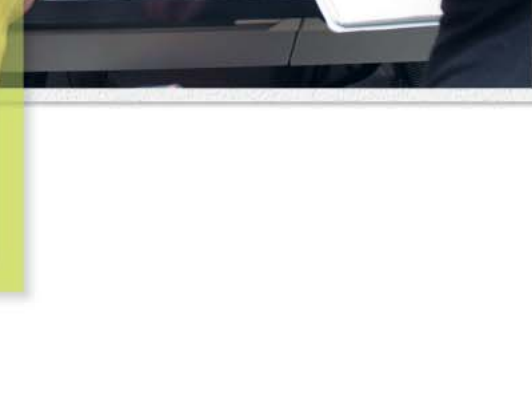
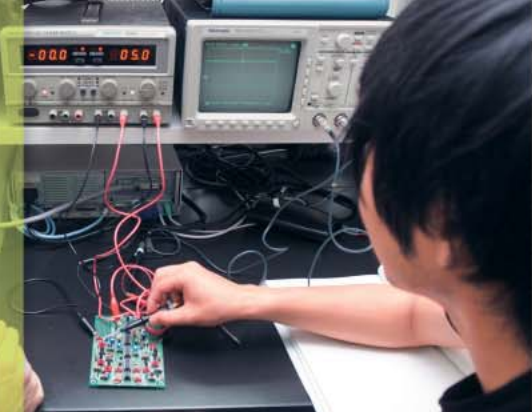
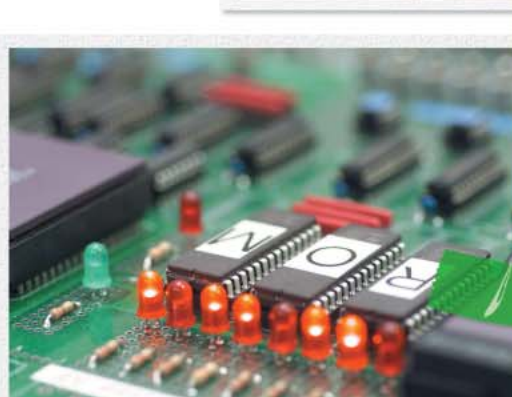
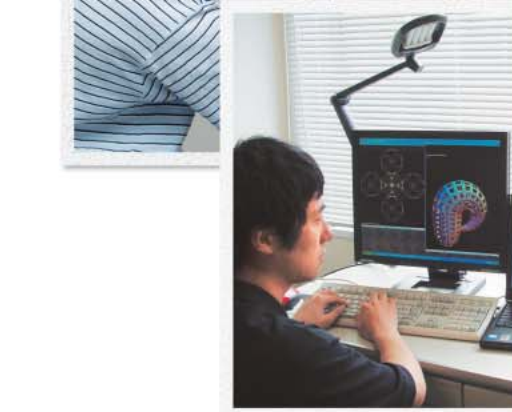
教授  
**矢野 卓雄** 1情報生物学  
Takuo YANO 2農学博士

助教授  
**中野 靖久** 1視覚情報工学  
Yasuhiro NAKANO 2工学博士

助手  
**香田 次郎** 1生物化学工学  
Jiro KOHDA 2博士(工学)

高精度に人間の脳機能を調べることのできる脳に非侵襲的刺戟法や脳電位・脳磁界の計測・解析手法を独自に開発しています。また、それらの技術を駆使して、人類最後のフロンティアと言われている人間の未知なる脳機能を解明する研究を行っています。さらに、脳機能をシステム的な観点からとらえ、得られた知見を工学的に応用することを目的としています。

教授  
**樋脇 治** 1生体情報工学  
Osamu HIWAKI 2博士(工学)





# 情報工学科

コンピュータコース

ネットワークコース

## 次世代のコンピュータとネットワークの 開発を目指してソフト、ハードからアプローチ

情報工学科では、コンピュータとネットワークに関するハードウェア技術およびソフトウェア技術を広範囲に教育・研究します。これらの技術をベースに、コンピュータとネットワークの融合技術、情報環境に対応できる人材の育成を進めます。

コンピュータコースでは、コンピュータのハードウェア、ソフトウェアなどに関する基礎的な知識を学び、システムソフトウェア、システムLSI、組込みシステムなどの高度情報社会を支える情報システム、および新しいコンピューティング環境に対応できる人材を育成します。

ネットワークコースでは、インターネット、モバイル通信、デジタル放送などに関する基礎的な知識を学び、いつでもどこでも利用可能なユビキタスネットワークなどの情報ネットワーク、および次世代のメディア協調型情報ネットワーク社会に対応できる人材を育成します。



アドホックネットワークは、各モバイル端末が端末そのものの機能だけでなくデータ中継機能の役割も果たし、無線だけでネットワークを構成するものです。上のコンピュータ画面で示した自律的なグループ再構成の技術は、大規模なアドホックネットワークのルーティングに適用するために考案されたもので、特許出願中です。



1.専門分野 2.学位

<p><b>教授</b></p> <p><b>井上 智生</b> Tomoo INOUE 1 VLSI設計自動化 2 博士(工学)</p>	<p><b>助教授</b></p> <p><b>市原 英行</b> Hideyuki ICHIHARA 1 論理設計とテスト 2 博士(工学)</p>	<p>大規模集積回路(VLSI)を効率よく設計するためのCADアルゴリズム(計算機支援設計)を研究しています。特に、安全で安心して使えるディメンダブルなVLSIの設計法や、再構成可能なVLSIシステムの設計とその応用について考えています。</p>
<p>情報をその利用目的に応じてデータとして改変・加工するためのコンピュータの回路を、高性能かつ高信頼度の集積回路(ICチップ)として実現する設計手法、並びにコンピュータ援用によるその設計自動化について研究しています。</p>	<p><b>教授</b></p> <p><b>若林 真一</b> Shin-ichi WAKABAYASHI 1 論理回路、論理システム設計 2 工学博士</p>	<p><b>助教授</b></p> <p><b>高橋 隆一</b> Ryuichi TAKAHASHI 1 論理設計方法論 2 工学修士</p>
<p><b>教授</b> 情報処理センター長</p> <p><b>北村 俊明</b> Toshiaki KITAMURA 1 プロセッサアーキテクチャ 2 博士(工学)</p>	<p>スーパーコンピュータ、並列計算機、先進的マイクロプロセッサなど、大規模・高速な計算機の構成や処理方式を探究します。さらに、これらを指向したソフトウェア、ハードウェアの開発環境を研究・開発します。</p>	<p><b>助手</b></p> <p><b>川端 英之</b> Hideyuki KAWABATA 1 コンピュータアーキテクチャ 2 博士(工学)</p> <p><b>窪田 昌史</b> Atsushi KUBOTA 1 コンピュータアーキテクチャ 2 修士(工学)</p>
<p>計算機の持つ性能を上げ、使いやすく信頼できるコンピュータシステムを実現するにはどのようにシステム設計をすればよいかを研究しています。このテーマに対し、ハードとソフトの両面から多角的に取り組んでいます。</p>	<p><b>助教授</b></p> <p><b>弘中 哲夫</b> Tetsuo HIRONAKA 1 計算機アーキテクチャ 2 博士(工学)</p>	<p><b>助手</b></p> <p><b>児島 彰</b> Akira KOJIMA 1 システムソフトウェア 2 修士(工学)</p> <p><b>谷川 一哉</b> Kazuya TANIGAWA 1 計算機アーキテクチャ 2 博士(情報工学)</p>
<p>実時間性、高信頼性などの多様な要求を満たす複雑なネットワークソフトウェアを誤りなくかつ効率よく開発する技術の確立をめざして、オブジェクト指向、エージェント指向の設計・プログラミングなどについて研究しています。</p>	<p><b>教授</b></p> <p><b>角田 良明</b> Yoshiaki KAKUDA 1 ネットワークソフトウェア 2 工学博士</p>	<p><b>助教授</b></p> <p><b>Rolf ADAMS</b> 1 プログラミング言語 2 Dr.rer.nat</p>
<p>衛星回線を用いたコンピュータ間通信技術、通信サービスの高度化・高信頼化を目指した通信プロトコル、および、無線通信技術や大容量・安定通信技術、などについて教育・研究しています。</p>	<p><b>教授</b></p> <p><b>石田 賢治</b> Kenji ISHIDA 1 情報ネットワーク 2 工学博士</p>	<p><b>助教授</b></p> <p><b>高橋 賢</b> Satoshi TAKAHASHI 1 情報ネットワーク、無線通信 2 博士(工学)</p>
<p>携帯電話、放送のデジタル化など電波が注目されています。当研究室では、情報と電波メディアの特徴を考慮した、通信・放送協調型情報ネットワークの研究、また電波で自然現象を科学する電波サイエンスの研究を行っています。</p>	<p><b>教授</b></p> <p><b>吉田 彰顕</b> Teruaki YOSHIDA 1 情報通信、電波サイエンス 2 工学博士</p>	<p><b>助教授</b></p> <p><b>西 正博</b> Masahiro NISHI 1 通信工学、電波サイエンス 2 博士(工学)</p>
<p>インターネットプロトコルを用いた高品質な通信を実現するための技術(IPストリーム伝送や移動透過通信など)、遠隔教育などのマルチメディア応用、インターネット管理運用技術に関する研究をしています。</p>	<p><b>助教授</b></p> <p><b>前田 香織</b> Kaori MAEDA 1 コンピュータネットワーク 2 博士(情報工学)</p>	<p><b>助手</b></p> <p><b>河野英太郎</b> Eitaro KOHNO 1 情報ネットワーク 2 修士(工学)</p>

## Curriculum

4年次

専門共通科目

- 情報通信法規
- 知的財産権
- 技術文書作成法
- プレゼンテーション技法
- 卒業研究Ⅰ・Ⅱ

学部総合科目 ※P19へ

3年次

コンピュータコース ネットワークコース

- 数値計算プログラミング
- 電子回路
- 最適化アルゴリズム
- 並列コンピュータ
- システムLSI設計
- LSI設計演習Ⅰ
- LSI設計演習Ⅱ
- CADシステム
- ネットワーク設計Ⅱ
- ネットワーク設計Ⅱ演習
- ワイヤレスネットワークⅠ
- ワイヤレスネットワークⅡ
- 信号設計論
- 分散システム
- プロトコル設計
- ネットワークソフトウェア演習

専門共通科目

- 情報理論
- コンピュータシステムⅡ
- オペレーティングシステム
- ネットワークプロトコル
- インターンシップ
- 外書講読演習Ⅰ
- 情報と職業
- マルチメディア通信
- アーキテクチャ
- ソフトウェア工学
- 外書講読演習Ⅱ
- 情報工学実験Ⅰ
- 情報工学実験Ⅱ

学部総合科目 ※P19へ

2年次

専門共通科目

- 論理設計
- 論理設計演習
- デジタル信号処理
- 電気回路応用
- ネットワーク設計Ⅰ
- ネットワーク設計Ⅰ演習
- 情報ネットワーク
- 通信方式
- プログラミング言語
- コンパイラ
- コンピュータシステムⅠ
- データベース

全学共通系科目 ※P4へ

外国語系科目 ※P4へ

学部総合科目 ※P19へ

学部共通科目 ※P19へ

1年次

全学共通系科目 ※P4へ

外国語系科目 ※P4へ

学部総合科目 ※P19へ

学部共通科目 ※P19へ



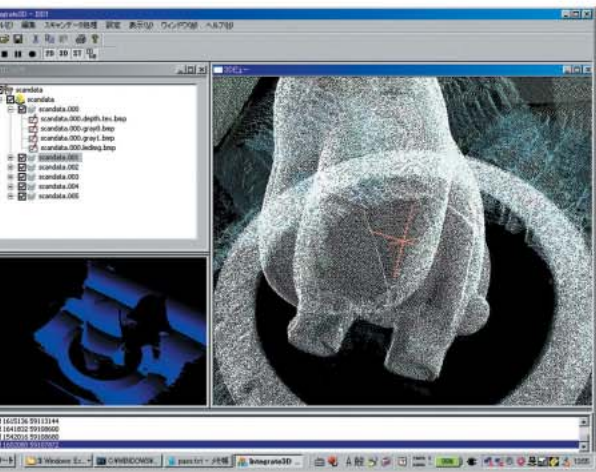
# 知能工学科

知能ソフトウェアコース

知能メディアコース

## 人間の知的能力の解明と知能情報システムの構築に挑む

知能工学科では知識基盤社会における人間の知的なコミュニケーション行動や情報行動を支援する高度な知能情報システムの技術者および研究者を育成するために、知能ソフトウェアコースと知能メディアコースの2コースを設置しています。また、両コースに共通な教育として、コンピュータグラフィックス、データベース、デジタル信号処理、感性情報処理、最適化理論、情報理論、計算幾何学、数理論理学、グラフ理論概論、確率統計などが開設されています。



市販のプロジェクタとビデオカメラを利用して、物体の3次元形状を簡単に計測できるようなアプリケーションを作成しています。計測した物体は、CGによってリアルに描画することができ、仮想博物館、ゲーム、インターネットコンテンツ作成等への応用が可能です。3次元計測アプリケーションの作成を通して、画像処理、CG、バーチャルリアリティの技術を学ぶことができます。

知能ソフトウェアコースでは、知識情報処理に必要な人工知能、データマイニング、機械学習、ヒューマンコンピュータインタラクション、知的情報検索エンジン、エージェント、発見的探索などを学び、知識基盤社会に重要な知能情報システムを開発できる人材を育成します。  
知能メディアコースでは、画像、映像、幾何データ、音声、文書などのメディア情報処理に必要な画像情報処理、コンピュータグラフィックス、パターン認識、自然言語処理などを学び、知識基盤社会に重要なメディア情報処理システムを開発できる人材を育成します。



現実に存在する物体を高精度デジタルアーカイブとして保存する技術と、実物と同様な画像として表示する技術について研究を行っています。2台のカメラを用いたステレオ法により、CGの物体を観察する位置を特定し、観察者の位置に応じた3次元画像を表示することで、実物と同様の実感を表現することが可能となりました。



1.専門分野 2.学位

<p><b>教授</b></p> <p><b>松原 行宏</b> Yukihiko MATSUBARA 1 知能工学 2 博士(工学)</p>	<p><b>助教授</b></p> <p><b>岩根 典之</b> Noriyuki IWANE 1 知能工学 2 博士(情報工学)</p>	<p>近未来に世界の情報基盤となることが予想される、マルチメディア・データハイウェイ上で機能する分散・協調型システム(バーチャルラボラトリ、バーチャルスクールなど)について、構成原理、実現技術の研究を行います。また、知識工学を利用した感性工学の研究も行います。</p>	
<p>われわれ人間は、学習あるいは事実や経験を通して知識を得、規則性を見つけていきます。また、蓄えられた知識を与えられた種々の状況に適用して、問題解決を図っています。計算機によりそのような問題解決の方法と応用を実現するための研究を行います。</p>	<p><b>教授</b></p> <p><b>高橋 健一</b> Ken-ichi TAKAHASHI 1 機械学習 2 工学博士</p>	<p><b>助教授</b></p> <p><b>宮原 哲浩</b> Tetsuhiro MIYAHARA 1 機械学習 2 博士(理学)</p>	<p><b>助手</b></p> <p><b>上田 祐彰</b> Hiroaki UEDA 1 機械学習 2 博士(工学)</p>
<p>物を見て理解する能力(コンピュータビジョン)と映像として表現する能力(コンピュータグラフィックス)の両面から、人間と協調し共存するメディアコンピュータの研究開発を行っています。</p>	<p><b>教授</b></p> <p><b>浅田 尚紀</b> Naoki ASADA 1 コンピュータビジョン 2 工学博士</p>	<p><b>助教授</b></p> <p><b>椋木 雅之</b> Masayuki MUKUNOKI 1 メディア情報処理 2 博士(工学)</p>	<p><b>助手</b></p> <p><b>青山 正人</b> Masahito AOYAMA 1 画像理解 2 博士(工学)</p> <p><b>馬場 雅志</b> Masashi BABA 1 コンピュータグラフィックス 2 博士(工学)</p>
<p>人間の創造活動や相互理解の支援をめざし、「個と全体の協調」に有用な知識データベース技術について多様な角度から研究しています。知識データベースには、事実や規則の他に文書・図形・写真・音声・映像などの情報が含まれます。</p>	<p><b>教授</b></p> <p><b>北上 始</b> Hajime KITAKAMI 1 知識データベース 2 博士(工学)</p>	<p><b>助教授</b></p> <p><b>黒木 進</b> Susumu KUROKI 1 空間データベース 2 博士(工学)</p>	<p><b>助手</b></p> <p><b>森 康真</b> Yasuma MORI 1 データベースシステム 2 修士(情報科学)</p> <p><b>田村 慶一</b> Keiichi TAMURA 1 データベース並列処理 2 博士(情報科学)</p>
<p>分かっているようで実は分かっていない人間の言葉。これをさまざまな角度からとらえなおし、人間とコンピュータが自然に対話できるシステムや、コンピュータによる文書の要約・分類・言語翻訳をめざします。</p>	<p><b>教授</b></p> <p><b>難波 英嗣</b> Hidetsugu NANBA 1 自然言語処理 2 博士(情報科学)</p>	<p><b>講師</b></p> <p><b>黒澤 義明</b> Yoshiaki KUROSAWA 1 発話意図理解 2 修士(人間・環境学)</p> <p><b>目良 和也</b> Kazuya MERA 1 対話理解 2 博士(学術)</p>	<p><b>助手</b></p> <p><b>市村 匠</b> Takumi ICHIMURA 1 ソフトコンピューティング 2 博士(工学)</p> <p><b>原 章</b> Akira HARA 1 進化的計算論 2 博士(工学)</p>
<p>自然界には人間以外にも知的な行動をとる生物が多数存在しています。このような自然界における知能を実現している生物進化、生物の行動ルール、神経系の機構などをモデル化し、コンピュータ上で実現しさまざまな分野に応用する研究を行っています。</p>	<p><b>教授</b></p> <p><b>高濱 徹行</b> Tetsuyuki TAKAHAMA 1 自然コンピューティング 2 博士(工学)</p>	<p><b>助教授</b></p> <p><b>末松 伸朗</b> Nobuo SUEMATSU 1 機械学習 2 博士(工学)</p>	<p><b>助手</b></p> <p><b>岩田 一貴</b> Kazunori IWATA 1 数理工学 2 博士(情報学)</p>
<p>知能は外界(環境・他者)とのインタラクションから発現するとの立場から、機械学習、コンピュータ・ビジョンについて研究しています。自分の目で見て、理解し、行動し、学習により能力をさらに向上させる知的エージェント(ロボット)の実現が目標です。</p>	<p><b>教授</b></p> <p><b>林 朗</b> Akira HAYASHI 1 パターン認識 2 Ph.D.</p>	<p><b>助教授</b></p> <p><b>内田 智之</b> Tomoyuki UCHIDA 1 データマイニング、グラフ理論 アルゴリズム論、計算幾何学 2 博士(理学)</p>	<p><b>助手</b></p> <p><b>古川 亮</b> Ryo FURUKAWA 1 コンピュータビジョン、CG 2 博士(工学)</p> <p><b>鈴木 祐介</b> Yusuke SUZUKI 1 データマイニング、機械学習 2 修士(理学)</p>
<p>計算理論やグラフ理論、計算機科学を基にし、計算機での種々の問題を解くためのより効率的なデータ構造、高速なアルゴリズムなどを研究し新しい画像処理方式、CG、バーチャルリアリティなどへ応用します。</p>	<p><b>教授</b></p> <p><b>中村 泰明</b> Yasuaki NAKAMURA 1 画像工学 2 工学博士</p>	<p><b>助教授</b></p> <p><b>三村 和史</b> Kazushi MIMURA 1 数理工学 2 博士(理学)</p>	<p>情報統計学と呼ばれる情報科学と統計学の境界領域の研究をしています。誤り訂正符号、情報圧縮、マルチユーザ検出などの情報科学の諸問題を持つ性質を数理的に理解すること、及びその結果の応用を目的としています。</p>

## Curriculum

### 4年次

#### 専門共通科目

- 情報通信法規
- 知的財産権
- 技術文書作成法
- プレゼンテーション技法
- 卒業研究Ⅰ・Ⅱ
- 技術英語Ⅱ

学部総合科目 ※P19へ

### 3年次

#### 知能ソフトウェアコース 知能メディアコース

- データマイニング
- 機械学習
- 情報検索
- 人工知能
- ヒューマンコンピュータインタラクション
- パターン認識
- 自然言語処理
- コンピュータグラフィックスⅡ
- 画像情報処理

#### 専門共通科目

- 最適化理論
- 感性情報処理
- 情報システム
- コンパイラ
- 情報セキュリティ
- 情報理論
- 情報と職業
- デジタル制御
- 記号処理プログラミング
- アルゴリズム論
- インターシッブ
- 技術英語Ⅰ
- 知能工学実験Ⅰ
- 知能工学実験Ⅱ

学部総合科目 ※P19へ

### 2年次

#### 専門共通科目

- 計算論
- グラフ理論概論
- 計算幾何学
- 数理論理学
- 数理計画法
- 数値解析
- コンピュータグラフィックスⅠ
- データベース
- 情報ネットワーク
- デジタル信号処理
- オペレーティングシステム

全学共通系科目 ※P4へ

外国語系科目 ※P4へ

学部総合科目 ※P19へ

学部共通科目 ※P19へ

### 1年次

全学共通系科目 ※P4へ

外国語系科目 ※P4へ

学部総合科目 ※P19へ

学部共通科目 ※P19へ



# システム工学科

制御・メカトロニクスコース

通信・インタフェースコース

人間、コンピュータ、情報システムが  
互いに協調し、人にやさしいシステムを開発

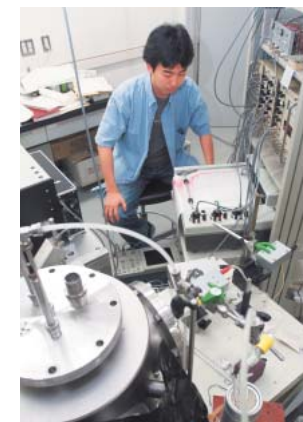
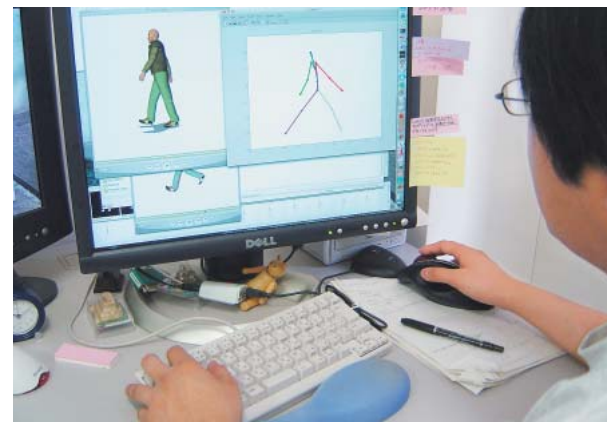
大規模・複雑システムとそれらを利用する人間全体を1つのシステムとして捉え、それぞれの固有技術や特性を理解するだけでなく、それらを有機的に統合し、効率・環境・安全などのより広範な価値観のもとで、システム全体の協調と調和を図る幅広い視野と創造的な技術者、研究者を育成します。

**制御・メカトロニクスコース**では、デジタル家電や生産工場での制御機器、各種ロボット、福祉機器などが、より使いやすく高度な機能を発揮させるためのシステム化技術を学び、人類が快適で理想的な社会を作るための、人にやさしいシステムを開発する幅広い視野をもった人材を育成します。

**通信・インタフェースコース**では、ネットワークで結合された大規模で複雑なシステムが、互いに協調して動作するためのデジタル通信、高信頼化、組込みソフトウェア開発などのシステム化技術を学び、ユビキタス社会を実現させることのできる幅広い視野をもった人材を育成します。



3年次に行うシステム工学実験Ⅰ・Ⅱでは、電気電子回路・ヒューマンインタフェース・画像処理・制御工学等の各要素技術を統合し、マイコンを搭載したロボットを自律走行させるシステムを製作します。



## Curriculum

4年次

専門共通科目

- 情報通信法規
- 知的財産権
- 技術文書作成法
- 卒業研究Ⅰ・Ⅱ
- プレゼンテーション技法

学部総合科目 ※P19へ

3年次

制御・メカトロニクスコース 通信・インタフェースコース

- 現代制御理論
- メカトロニクスⅡ
- ロボティクスⅠ
- デジタル制御
- ロボティクスⅡ
- 通信工学Ⅰ
- 人間工学
- オブジェクト指向技術
- 通信工学Ⅱ
- 協調設計とリアルタイム処理
- ヒューマンインタフェース

専門共通科目

- 最適化手法
- 情報セキュリティ概論
- 電子回路Ⅱ
- コンピュータグラフィックスⅡ
- ソフトコンピューティング
- 外書講読演習Ⅰ
- 情報と職業
- 情報応用代数
- パターン認識
- 数値計算法
- マルチメディア決定過程
- 外書講読演習Ⅱ
- システム工学実験Ⅰ
- システム工学実験Ⅱ
- インターンシップ

学部総合科目 ※P19へ

2年次

専門共通科目

- 応用幾何学
- 情報理論
- 電子回路Ⅰ
- 情報ネットワーク
- コンピュータグラフィックスⅠ
- 制御工学
- メカトロニクスⅠ
- 電気電子計測
- ソフトウェア工学概論
- 偏微分方程式

全学共通系科目 ※P4へ

外国語系科目 ※P4へ

学部総合科目 ※P19へ

学部共通科目 ※P19へ

1年次

全学共通系科目 ※P4へ

外国語系科目 ※P4へ

学部総合科目 ※P19へ

学部共通科目 ※P19へ

世の中にはいろいろなシステムが存在します。システムが本来の目的を達成し、かつ最高の性能を発揮するためにはどのようにすればよいかを、各種のシミュレーションや最適化手法を使って明らかにする研究を行っています。現在の主な研究対象は、メカトロニクスシステムです。

<b>教授</b> 副学長 <b>佐野 学</b> Manabu SANO	1システム工学、制御工学 2工学博士	<b>助教授</b> <b>小寺 貴弘</b> Takahiro KOSAKI	1制御工学 2博士(工学)	<b>助手</b> <b>小作 敏晴</b> Toshiharu KOSAKU	1機械工学 2修士(工学)
---	-----------------------	---	------------------	---	------------------

<b>教授</b> <b>小林 康秀</b> Yasuhide KOBAYASHI	1システム工学、制御工学 2工学博士	人間のような学習能力を持つシステムを目指して、非線形・時変系・分布定数系・確率システムなどに対する新たな適応制御・最適制御を、確率的決定論・ニューラルネットワーク・遺伝アルゴリズムなどを用いて実現します。	<b>助手</b> <b>疋田 真一</b> Shin-ichi HIKITA	1制御工学 2博士(工学)	<b>助手</b> <b>小野 貴彦</b> Takahiko ONO	1制御工学 2博士(情報科学)
---	-----------------------	--	---	------------------	---	--------------------

人間の創造力を高める道具としてコンピュータを有効活用するため、人とコンピュータをつなぐインタフェースをメカトロニクス技術・インターネット上の情報発見と活用の技術・オンラインコミュニティの学習支援技術などの観点から総合的に研究しています。	<b>助教授</b> <b>砂山 渡</b> Wataru SUNAYAMA	1ウェブマイニング 2博士(工学)	<b>助手</b> <b>川本 佳代</b> Kayo KAWAMOTO	1教育学 2修士(教育学)	<b>助手</b> <b>高井 博之</b> Hiroyuki TAKAI	1メカトロニクスインタフェース 2修士(工学)
--	--	----------------------	--	------------------	---	----------------------------

情報処理・通信システムの高度化を目指し、フォトニックデバイスのような回路素子からニューラルネットワークのような大規模回路網までに至る様々な階層においてハードウェア構成法に関する研究を行っています。

<b>教授</b> <b>生岩 量久</b> Kazuhiisa HAEIWA	1デジタル放送 2工学博士	<b>助教授</b> <b>藤坂 尚登</b> Hisato FUJISAKA	1非線形回路 2博士(工学)	<b>助手</b> <b>神尾 武司</b> Takeshi KAMIO	1計算機工学 2博士(工学)
---	------------------	---	-------------------	--	-------------------

ソフトウェアの設計・実現・試験は、本質的に知識集約的な問題解決作業です。そのようなソフトウェアをつくるための実践的な人間の知的共同作業について、科学的に整理し理解を深めることを目標に研究をしています。

<b>教授</b> <b>大場 充</b> Mitsuru OHBA	1ソフトウェア工学 2理工学修士	<b>助教授</b> <b>島 和之</b> Kazuyuki SHIMA	1ソフトウェア工学 2博士(工学)	<b>助手</b> <b>佐藤 康臣</b> Yasuomi SATO	1ソフトウェア工学 2工学修士	<b>助手</b> <b>清水 将吾</b> Shogo SHIMIZU	1データ工学 2博士(工学)
--	---------------------	---	----------------------	---	--------------------	--	-------------------

人間の認知情報処理特性、生理特性を解明し、人間・機械系設計への活用を研究しています。左右の脳の認知情報処理特性評価、記憶の数理モデル構築、生体情報工学に基づくストレス評価、3次元動作解析法開発を行っています。

<b>教授</b> <b>伊藤 史朗</b> Shiroh ITOH	1代数学 2理学博士	<b>助教授</b> <b>関根 光弘</b> Mitsuhiro SEKINE	1トポロジー 2理学博士	<b>助手</b> <b>高橋 雄三</b> Yuzo TAKAHASHI	1人間工学 2修士(学術)
--	---------------	--	-----------------	---	------------------

情報科学の研究においてもいろいろな分野の数学を使います。数学の立場から関連する情報の研究も可能です。現在は情報科学に関して、代数学・トポロジーの研究・教育を行っています。

<b>教授</b> <b>伊藤 史朗</b> Shiroh ITOH	1代数学 2理学博士	<b>助教授</b> <b>関根 光弘</b> Mitsuhiro SEKINE	1トポロジー 2理学博士	<b>助手</b> <b>廣門 正行</b> Masayuki HIROKADO	1代数幾何学 2博士(数理科学)	<b>助手</b> <b>齊藤 夏雄</b> Natsuo SAITO	1代数幾何学 2博士(数理科学)
--	---------------	--	-----------------	--	---------------------	---	---------------------

社会現象が複雑化し、社会科学や情報科学においても数理的な解析が重要であり、人間社会を豊かにする数学理論の構築を目指しています。オペレーションズリサーチ、数理計画法、マルコフ決定過程論、確率過程論、確率制御理論等の研究を行っています。

<b>助教授</b> <b>田中 輝雄</b> Teruo TANAKA	1確率過程 2博士(理学)
--	------------------



# 研究紹介



総合的な知識を基盤に情報科学の最先端を研究

柔軟かつ論理的な思考と旺盛な探究心。高度情報社会が求める優れた技術の開発とその応用、そしてシステムの構築をめざして多様な角度から研究に取り組んでいます。

学部卒業後は、大学院に進学し  
研究をより深めることができます。  
みんな生き生きしてますね!

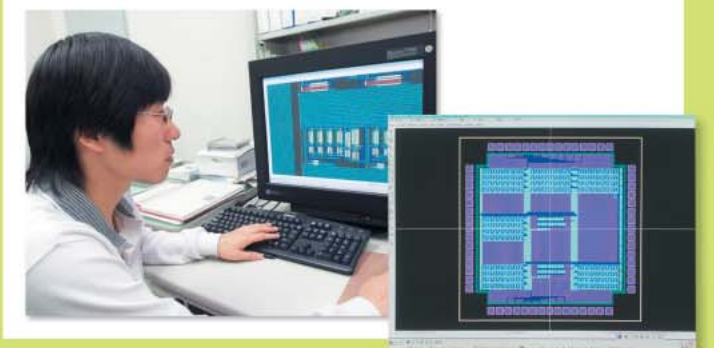
## LSIの研究

情報科学研究科 博士前期課程 2年  
向 建宇 Kou KENU



設計余裕を評価する集積回路を設計

半導体の研究が中国より進んでいる日本で勉強したいという思いから留学をめざし、研究内容や実験設備が充実している市大に入学して6年が経とうとしています。現在は、パラメータを抽出するためのLSIの研究を行っています。携帯電話やテレビの部品は時代とともに小さくなってきており、小さくすればするほど、設計上の制限が出てきます。その制限の中で、正しく動作させるためには、設計余裕を評価する回路が必要になってきます。それが研究中のLSIなのです。はじめから計算どおりになかなか動いてくれませんが、挑戦のたびに問題点が見つかり、その問題点の一つひとつクリアしていくごとに完成形に近づいていくので、とてもやりがいがあります。将来は、この研究が活かされる半導体メーカーに就職し、高性能で信頼度の高いLSIを実現して安定動作する製品を作っていきたいですね。市大は、専門分野を超えた幅広い学びができる場所。必ず自分のやりたいことを見つかることができると思います。私自身も多彩な学びを通して、自分の手を動かして設計する楽しさ、喜びを得ました。



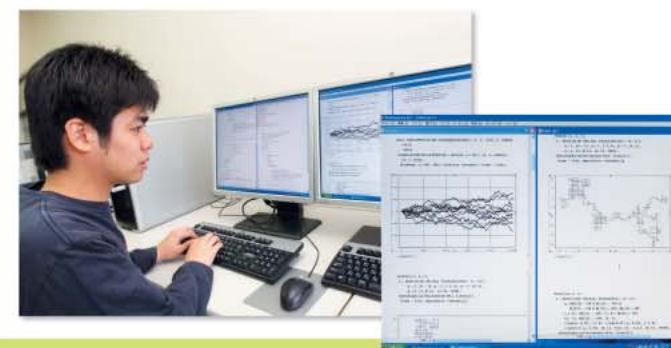
情報科学研究科 博士前期課程 2年  
鼠家 秀敏 Hidetoshi NEZUMIYA

## 確率システムの研究



先の見えない事象に対して数式で予測

例えば株価のこれまでの動きから今後の動きを予測する。タバコの煙の分子運動からその流れを予測する。こうした先の見えない事象に対して数式で予測していく確率の研究に取り組んでいます。過去のデータや実験で求めた数値から数式をつくり、実際に数字をあてはめて計算していくのですが、何十回、何百回と繰り返すことによって、より現実に近い値を得ることができます。また、出生数と死亡者数を予測することで、今後の日本の人口を予測したり、どんなゴミをどのような方法で抑制するかを数式にあてはめて考えれば、10年後、20年後のゴミの量も予測できるなど、シミュレーションへの応用も可能です。もともと数学が好きで、数学の持つ多様性や可能性に強く惹かれていただけに、あれこれ考えながら数式を作っていくのは楽しいですよ。解答はひとつであっても、そこにたどりつくまでのプロセスは幾通りもありますから。僕は教師をめざしているのですが、子どもたちにもそうした独自の考え方や数学の楽しさを教えていきたいと思っています。



情報科学研究科 博士前期課程 2年  
坂本 靖紀 Yasuki SAKAMOTO

## ヒト検知システムの研究



TV放送電波の特性を活かしヒトの有無を識別

TVの放送電波の特性を調べていた時、ヒトの動きによって、電波の振幅位相が変化することに気がつきました。そこで、この変化を利用すれば屋内のヒトの有無を離れた場所からでも知ることができるのではないかと考えました。TVの電波を送信電波として利用すると、受信機のみでシステムが構築できる。また極めて送信出力が安定しているので一定の受信レベルを保て、しかも電波は屋内の壁や床に反射するので、いろいろな角度から受信できるメリットがあります。つまり屋内に設置した受信機が、ヒトの動きによって起こる電波の振幅位相の変化、それに伴う受信レベルの変動を捉え、ヒトの有無を識別するのです。これは屋内への不正侵入防止はもちろんのこと、一人暮らしの高齢者の安否確認にも応用できます。僕は、大学の2年までは今ひとつ学業に専念できなかったのですが、プレゼンテーションを通して自分の考えや実験結果を発表する楽しさを知り、勉強もがぜん面白くなりました。それがこのシステム構築に、また、僕の自信にもつながっているのです。これからもこうした研究を通して、少しでも社会に貢献できればうれしいですね。



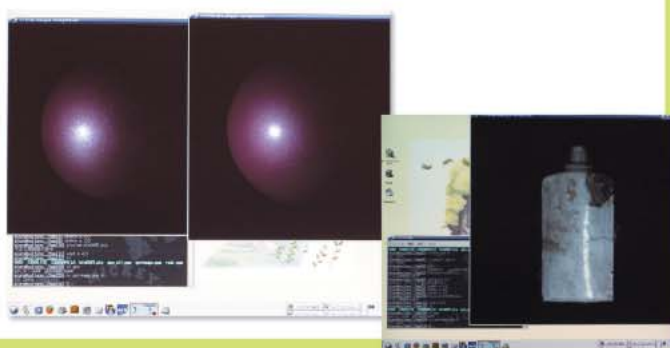
情報科学研究科 博士前期課程 2年  
三浦 幸子 Sachiko MIURA

## 高精細CGの研究



形、色、質感…物体をCGでリアルに表現

コンピュータによる情報の認識について研究しています。具体的には、目の前にある物体を、人間の目が捉えたままにCGで表現するプログラムの開発です。その手掛りになるのが物体の光の反射。光がどう反射しているか、さまざまな角度から解析し、コンピュータに取り込んだ画像に反映させて本物に近づけていくのです。物体の前面だけでなく、側面や背面、上面や底面までも見せ、色や質感も伝えることができるのはCGならではの、これが実用化されると、例えば被爆資料なども、映像で配信すれば世界中どこに居ても見ることが可能となります。また、インターネット上のショッピングカタログもリアリティが高まり、消費者は商品のイメージをつかみやすくなります。車の塗装も1部分を塗るだけで全体像がつかめるので時間やコストの節約につながります。実際、被爆資料については昨年、広島平和記念資料館でデモンストレーションを行い、好評を得ています。現在は、表面がすべて同じ材質のものに限られており、材質の異なる物体など、表現できる物の幅を広げることが今後の課題です。その実現に向けて研究を重ね、より完成度の高いものをつくっていききたいと思います。





Art

# 芸術学部

美術学科 / デザイン工芸学科



## 教育方針

**基礎美学を重視した実技主体の教育が芸術学部の特徴です。**

芸術は、自由な精神を土台として、人間性を表現する人間そのものの行為です。

これまで、とすれば直接経済活動とは結びつかない特殊な領域とされてきた芸術が、いま、現代社会において、科学技術、経済、政治などの社会活動全般にわたり感性と人間性を豊かにする社会的行為として、期待されるようになってきました。

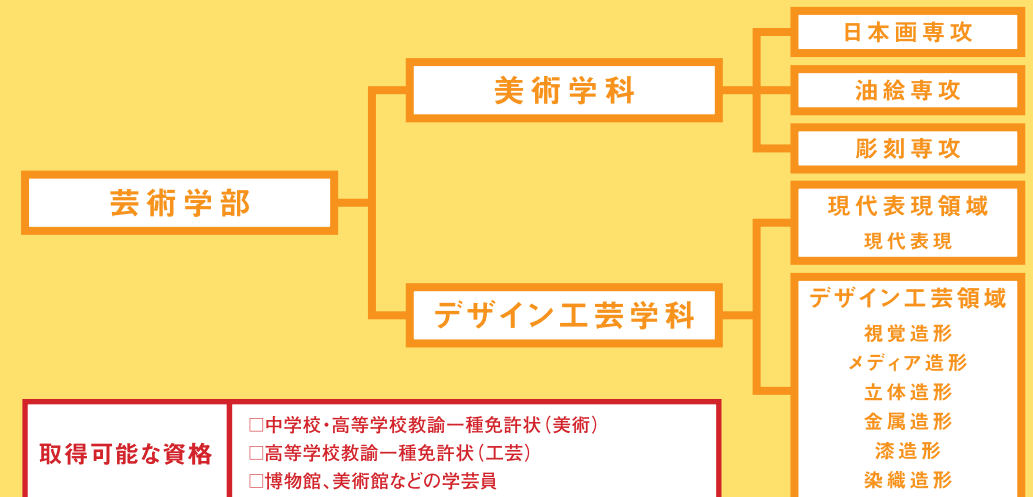
芸術学部は、このような現代社会における芸術の役割を認識し、広範な活動領域で持続的な創作活動を行うことのできる人材を養成します。実技主体の学部として、基礎実技を重視した教育研究を行うとともに、学科や専攻にとらわれず、多様な表現技法を修得できるように、多角的な学習を行います。また、国際的な視野の下に教育研究を推進するため、異文化理解などを重視した教育を行うとともに、国際関係論や情報処理など、3学部の連携による幅広い教養教育を基礎に美術教育を行います。

なお、1998（平成10年）4月に大学院博士前期課程（修士課程）を、2000年（平成12年）4月に同後期課程（博士課程）を開設しました。大学院では、より専門的な芸術家の育成を目指します。



## 構成

**専攻を決めて高みをめざす美術学科。**  
**幅広く学んで専門のおもしろさを見つけていくデザイン工芸学科。**



### 取得可能な資格

- 中学校・高等学校教諭一種免許状（美術）
- 高等学校教諭一種免許状（工芸）
- 博物館、美術館などの学芸員

知識と表現の幅を広める。偏った世界から創作は生まれない。



芸術学部長 大井 健次

本学の芸術学部は、芸術系単科大学の機能だけではなく、国際学部、情報科学部との3学部構成による特殊性とユニークな機能を持ちます。芸術系単科大学は、とすると教育や研究が偏りがちになりやすいのですが、本学の芸術学部で学ぶ学生は、他学部の多くの先生や学生などとのふれあいを通して、各々の知識と表現の幅を広め、国際性豊かな知的、創造的ネットワークをつくりあげています。アーティスト、クリエイターを目指す皆さんは自分は、何を学びたいのか、自分自身の目的と決意をもって本学の門をたたいて下さい。



# 美術学科

確実な基礎技法の上に表現力が花開く。  
個性と技術が作家活動につながります。

美術学科は純粋アートの制作を学ぶ学科です。ものの方、形のとらえ方といった基礎力をしっかり磨き、そのうえで、日本画、油絵、彫刻の3つの専攻それぞれの技法を修得し、自分ならではの表現を追求していきます。1年次から各専攻ごとに実習に力を入れ、手の動きを積み重ねるなかから、確実な技法の修得をめざしていきますが、あわせて、専攻にとらわれず、さまざまな素材を使った表現の可能性も追求していきます。

## 日本画専攻



基本的な実技を通して、日本画における材料の基礎的な理解及び個人的な造形感覚を進展させます。1～3年次で幅広く課題を経験するとともに、絹本を使用した制作、箔講義、裏うち講義や古典作品の模写を通してさまざまな技法も学ぶことにより、絵画表現に幅をもたせ、4年次の卒業制作に備えます。

- |                                |                             |                           |
|--------------------------------|-----------------------------|---------------------------|
| 教 倉島 重友<br>Shigetomo KURASHIMA | 教 西田 俊英<br>Shunei NISHIDA   | 助教授 藁谷 実<br>Minoru WARAYA |
| 助教授 北田 克己<br>Katsumi KITADA    | 助教授 佐々木 正<br>Tadashi SASAKI |                           |

## 油絵専攻



基本的指導方針として、写実ないし具象表現を根幹とした教育を行います。1～4年次を通じてデッサンの重視と古典の研究を中心課題とし、油絵制作の実技を通して本格的な油絵の専門技術を修得します。さらに、絵画表現領域を拡大するため、各種版画の技法研究も行います。

- |                              |                       |                             |                              |
|------------------------------|-----------------------|-----------------------------|------------------------------|
| 教 三原 捷宏*<br>Katsuhiko MIHARA | 教 堀 研<br>Ken HORI     | 教 磯江 毅<br>Tsuyoshi ISOE     | 教 友安 一成<br>Kazunari TOMOYASU |
| 教 吉井 章<br>Akira YOSHII       | 教 大矢 英雄<br>Hideo OHYA | 助教授 森永 昌司<br>Shoji MORINAGA |                              |

## 彫刻専攻



4年間を通して、彫刻の基礎となる塑造を中心に制作を重ねます。人体をモデルとして、自然から彫刻芸術の基礎を学び、併せて東洋・西洋の古典を学習しながら、自らの創造基盤を作り上げます。1、2年次には、木・石・金属などの実材彫刻の基礎を学習し、3年次以降は、自由な制作活動の中から自己表現の方法を学びます。

- 芸術資料館長
- |                             |                             |                              |
|-----------------------------|-----------------------------|------------------------------|
| 教 綿引 道郎<br>Michio WATABIKI  | 教 植草 正勝<br>Masakatsu UEKUSA | 教 前川 義春<br>Yoshiharu MAEKAWA |
| 助教授 伊東 敏光<br>Toshimitsu ITO | 助手 和田拓治郎*<br>Takujirou WADA |                              |

## 古美術研究演習

3年次の後期に、油絵専攻ではイタリア、日本画専攻・彫刻専攻、ならびにデザイン工芸学科は京都・奈良への古美術研究旅行を行います。イタリアではフィレンツェ・ローマ・ミラノなどの美術館を訪れ、地域や時代によって異なる絵画技法や材料を考察し、ルネサンス期を中心に絵画のルーツを探ります。



## Curriculum

### 4年次

#### 専門共通科目

- 専門科目
  - 日本画専攻
    - 日本画実習Ⅳ
    - 絵画論演習
    - 特別演習(裏打技法)
    - 卒業制作
  - 油絵専攻
    - 油絵実習ⅣA・B
    - 卒業制作A・B
  - 彫刻専攻
    - 彫刻実習Ⅳ
    - 卒業制作

### 3年次

#### 専門共通科目

- 専門基礎科目
  - 美学
  - 日本美術史
  - 東洋美術史
  - 西洋美術史特論
  - 文化財学研究
  - 彫刻論
- 専門科目
  - 日本画専攻
    - 日本画実習Ⅲ
    - 古美術研究(演習)
    - 材料論演習Ⅲ(金属材料)
    - デッサン実習Ⅲ
    - 構成実習Ⅲ(平面)
  - 油絵専攻
    - 油絵実習ⅢA・B
    - 古美術研究(演習)
    - デッサン実習Ⅲ
    - 構成実習Ⅲ(平面)
  - 彫刻専攻
    - 彫刻実習Ⅲ
    - 古美術研究(演習)
    - 実材制作実習Ⅱ
    - 彫刻論演習(古典研究を含む)
    - 構成実習Ⅲ(立体)
    - デッサン実習Ⅲ

### 2年次

#### 専門共通科目

- 専門基礎科目
  - 図法及び製図
  - 西洋美術史
  - 材料技法演習
  - 総合演習C
  - 工芸制作Ⅰ
  - 造形応用研究
  - 工学概論
  - 工芸材料概説
  - 写真(映像)概論
  - デザインと文化
  - 現代美術論
  - 版画制作演習
  - 絵画論
  - 現代美術演習Ⅱ
- 専門科目
  - 日本画専攻
    - 日本画実習Ⅱ
  - デッサン実習Ⅱ
  - 構成実習Ⅱ(平面)
  - 彫刻
  - 油絵専攻
    - 油絵実習ⅡA・B
    - デッサン実習Ⅱ
    - 版画制作実習Ⅰ
    - 学外演習
    - 工学概論
    - 構成実習Ⅱ(平面)
    - 油絵材料・技法演習(古典技法)
    - 彫刻専攻
      - 彫刻実習Ⅱ
      - デッサン実習Ⅱ
      - 実材制作実習Ⅰ
      - 構成実習Ⅱ(平面・立体)

#### 全学共通系科目 ※P4へ

#### 外国語系科目 ※P4へ

### 1年次

#### 専門共通科目

- 専門基礎科目
  - 美術解剖学
  - デザイン概論
  - 工芸概論
  - 油彩画材料論
  - 油絵入門
  - 日本画入門
  - 現代美術演習Ⅰ
- 専門科目
  - 日本画専攻
    - 日本画実習Ⅰ
    - デッサン実習Ⅰ
  - 構成実習Ⅰ(平面)
  - 材料論演習Ⅰ・Ⅱ
  - 油絵専攻
    - 油絵実習ⅠA・B
    - デッサン実習Ⅰ
    - 構成実習Ⅰ(平面)
    - 彫刻
    - 彫刻専攻
      - 彫刻実習Ⅰ
      - 構成実習Ⅰ(平面)
      - デッサン実習Ⅰ
      - 実材制作基礎実習(工芸制作を含む)

#### 全学共通系科目 ※P4へ

#### 外国語系科目 ※P4へ

# デザイン工芸学科

日常のなかにも、クリエイティビティを  
発揮できる場所がある。

生活に関する造形芸術としてのデザイン及び工芸の総合的な教育研究を目的として、基礎的な表現力と技術を重視するとともに、既成の分野にとらわれることなく、多様な素材を体感し、広範な活動領域の中で十分に対応できる、創造性のある幅広い表現法の展開を可能とする教育を行います。1年次にデザイン・工芸の基礎実技教育を行い、幅広い表現方法を修得させ、2～4年次で各専門分野に分かれて、課題制作や卒業制作に備えます。

## 現代表現



### 現代美術十理論

現代美術の演習と作品の言語構築。プレゼンテーション・キュレーションを含めたアーティスト、キュレーターの育成と、国内外での実践活動を目指します。

- |                      |             |                             |      |                             |      |
|----------------------|-------------|-----------------------------|------|-----------------------------|------|
| 教 大井 健次<br>Kenji OHI | 現代表現(兼)視覚造形 | 助教授 鍛澤 達夫<br>Tatsuo EBISAWA | 現代表現 | 助教授 柳 幸典<br>Yukinori YANAGI | 現代表現 |
|----------------------|-------------|-----------------------------|------|-----------------------------|------|

※理論系教員1名を採用の予定です。

## 視覚造形

多種多様な素材を研究し、表現に応用。

ビジュアルコミュニケーションデザインの基本となる日本の墨や毛筆、西洋古典の模写を通じて技法と感性を知り、コンピュータを使ったCGやDTPへの展開等を修得。イラストレーションやグラフィックデザイン等多岐にわたるメディアへの応用に取り組みます。

## メディア造形

アートのカテゴリー創出の可能性を探る。

本学の高度に整備されたコンピュータ環境を生かし、多彩なメディアを用いて、五感全てに訴えかける芸術表現の可能性の探究を目的に、コンピュータグラフィックスやヴァーチャルリアリティなどの映像表現を核に実習を行います。

## 立体造形

生活と社会における人・モノ・情報の関係をデザインする。

生活空間における人・モノ・情報環境の関係を考察し、計画から実際の制作を通じて、機能や素材と構造の関係を学びます。制作にあたっては芸術資料館の収蔵資料で情報収集・活用・蓄積を行い、各専門工房(金属・木工・染織・塗装・CGラボ等)の有機的活用をはかります。

## 金属造形

金属を使用した造形計画から実制作までを行う。

人類が金属素材と出会って以来、金属の可能性への探究は、弛みなく行われてきました。いまや、日常生活においても、大変身近となった金属素材は、多種多様です。彫金、鍛金、鍍金といった、金属工芸の基本的な技法と素材について学び、各自の素材に対するアプローチを大切にしながら、金属造形の世界を開拓していきます。

## 漆造形

ものづくりの必然性を追求し、自由な自己表現をめざす。

宮島式轆轤による立体表現の実習風景です。漆の造形には、木、金属、布等、様々な素材の認識と技術の習得が必要です。深く追求することで多様な知識と必然性を学び、自由な自己表現をめざします。

## 染織造形

染織の多様な技法を習得し、染織造形制作への展開を行う。

染織工芸は古来から生活用品としてそれぞれの時代の文化の証です。日本独自の多様な技法と感性の蓄積を今一度見つめ直し、現代社会における染・織・繊維造形のあり方を広い視野から捉え、手仕事による独自の作品制作に取り組みます。

- |                               |      |                              |      |                             |        |                              |        |                               |      |                           |      |
|-------------------------------|------|------------------------------|------|-----------------------------|--------|------------------------------|--------|-------------------------------|------|---------------------------|------|
| 教 服部 幸作<br>Toshaku HATTORI    | 立体造形 | 教 若山 裕昭<br>Hiroaki WAKAYAMA  | 金属造形 | 教 中嶋 健明<br>Takeaki NAKAJIMA | メディア造形 | 教 藤本 哲夫<br>Tetsuo FUJIMOTO   | 染織造形   | 教 及川 久男<br>Hisao OKAWA        | 視覚造形 | 教 南 昌伸<br>Masanobu MINAMI | 金属造形 |
| 助教授 吉田 幸弘<br>Yukihiro YOSHIDA | 立体造形 | 助教授 倉内 啓<br>Hiroshi KURAUCHI | 染織造形 | 助教授 永見 文人<br>Fumito NAGAMI  | 金属造形   | 助教授 笠原 浩<br>Hiroshi KASAHARA | メディア造形 | 講師 大塚 智嗣<br>Tomotsugu OHTSUKA | 漆造形  |                           |      |



# 美術学科

学生作品



油絵 向川 貴晃 「father & mother」



日本画 山浦 めぐみ 「夏窓」



日本画 豊嶋 浩子 「わたしをうたう～like someone in love～」



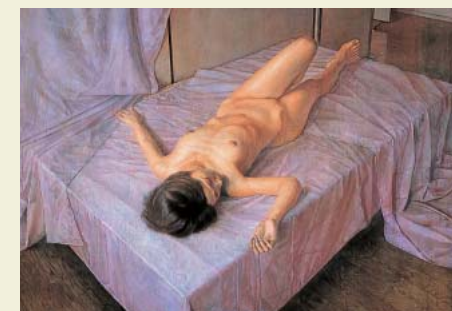
日本画 片桐 大介 「自己をたつこと分かつこと—自画半身像—」



油絵 高瀬 まり子 「柔らかな」



油絵 廣戸 絵美 「室外へつながる通路」



油絵 友清 大介 「夏の午後」



日本画 山下 案由実  
模写「法隆寺金堂壁面六号壁(部分)観音菩薩像」



彫刻 木村 卓 「挑戦」

彫刻 三上 賢治 「介在」



彫刻 山中 洋明 「残心」

## 発想をカタチにするよろこび。

描く、形づくる。一人ひとりの研ぎすまされた感性、  
確かな技術が創りだすオリジナリティあふれる世界。またひとつ、新しい文化が息づく。



Student works

# デザイン 工芸学科

学生作品



メディア造形 酒井 愛 「リトルメリー」(映像作品)



メディア造形 戸川 蛍 「あめのうた」(映像作品)



金属造形 竹原 真二 「当世消費洛中洛外図」



視覚造形 吉村 直美 「BLUE BIRD」



漆造形 山門 容子 「comfort」



漆造形 田村 耕 「蝶蒔絵裸像乾漆漆ノ洋弦楽器」



金属造形 田中 妙美 「life」



現代表現 矢田 将樹 「Flat Garden」

現代表現 祐源 紘史 「TAKASHI」



立体造形 塚本 康博 「Insertrape No.5」



立体造形 胡井 ひさ子 「\_pattern」



染織造形 斉藤 泰子 「delusion」



染織造形 佐川 久美子 「さかしま」



# 未来へつながるイメージ。

織る、操る、デザインする。自分を信じ、自分に期待する熱い想いが生み出す無限の可能性。  
個性と技術の融合が、いま未来を映し出す。





美術学科 油絵専攻 1年  
廣岡美佐子 Misako HIROOKA

気軽に相談できる  
先輩たちは頼もしい存在

ひとつの課題を2~3週間かけて仕上げる。対象物をじっくり見ることに力を入れた先生の指導のもと、幅広い物の見方、基礎技術の習得に励んでいます。また、少人数でアットホームな雰囲気なので先輩たちにも気軽に相談でき、岩国からの遠距離通学も苦になりません。



芸術学研究所 彫刻専攻 博士前期課程 2年  
渋谷洋介 Yosuke SHIBUYA

ドイツ留学で  
ひと皮むけた自分を発見

交換留学生としてドイツ・ハノーバー専科大学に留学。制作よりもディスカッションに時間を割いたり、一つの素材に縛られず多彩な素材を用いて作品を創ったり。そのすべてが実に新鮮で、構えることなく感じたままに素直に反応すればよいことを改めて教えられました。



美術学科 油絵専攻 2年  
服部 悠 Haruka HATTORI

プロ意識の高さを  
間近に感じる刺激的な日々

写実・具象表現を重視する市大で徹底的に写実の表現を学びたくて入学。モチーフとしっかり向き合い、時間をかけて一つの作品を制作していくので、作品に対する思い入れも深いですね。先生方は、先生である前に作家として接して下さるので、とても刺激的です。



美術学科 彫刻専攻 3年  
黒田大祐 Daisuke KURODA

木を彫り、削り、  
木以上のものを創りあげたい

制作活動に迷っていたある時期、一人の木彫作家の作品と出会い、木ならではの説得力ある存在感、美しさに希望を見い出しました。自分も作品を通して、誰か一人にでも希望や喜びをもたらしたい。その一念で、日々、木と格闘しています。



# 私の学び方

感性を研ぎすませて自己を見つめ、  
内なる想いを表現

在生から一言

創造の楽しさ、難しさを実感しながら、常に自分らしさを追求。その真摯な姿はとても美しく、深く熱い想いが観る者の琴線を震わせる作品を創りだしているのです。



芸術学研究所 日本画専攻 博士前期課程 1年  
大黒世都 Setsu DAIKOKU

日本画ならではの  
繊細な筆づかいに魅せられて

線の強弱や色彩の鮮やかさ。古典作品の模写を通して初めて気づくことも多く、驚きと発見の毎日です。岩絵の具を自在に使いこなすにはまだ時間が必要ですが、自分にとって日本画は、自分の感じたことを表現する手段。ずっと描き続けていきたいと思っています。



美術学科 油絵専攻 2年  
中村有丞 Yusuke NAKAMURA

専攻の枠を越え、  
制作活動の幅を広げる

とにかくモチーフをじっくり観察し、じっくり作品と向き合う時間があるのが市大芸術学部の大きな特徴だと思います。デザインや工芸など、他の専攻の工房も気軽に使用でき、先生方も他専攻の学生にも親切に教えて下さるので、制作活動の幅も広がりますよ。



美術学科 日本画専攻 4年  
森 博幸 Hiroyuki MORI

心を解き放ち、描きたいものを描く

岩絵の具の質感や墨の世界が好きで日本画の道へ。現在、先輩たちと一緒に古民家を借りてアトリエ兼ギャラリーを造り、制作活動をしています。学校の外でも絵を描ける環境に身を置くことで、自分自身の絵に対する意識や技術を、より高めていきたいと思っています。



デザイン工芸学科 染織造形 3年  
青木裕未 Yumi AOKI

卒業制作では  
個性豊かな着用に挑戦!

細かなところまでこだわって下図を描き、糸を染め、機を織る…。計画的な工程から思いもよらない効果が現れ、驚いたり感動したり。普段からどこへ行く時もクロッキー帳を持ち歩き、スケッチやアイデアを描きとめ、イメージをふくらませています。



デザイン工芸学科 漆造形 4年  
土橋範子 Noriko DOBASHI

日本人の美意識から生まれた  
芸術品、漆を究める

日本独特の美をたたく漆の世界を、自分なりの表現で究めるために技術の習得はもちろん、いろいろな物を見て、聞いて、感覚を磨いています。使うほどに艶がでる漆は食器など口あたりもやわらか。芸術品であり実用品である漆の魅力を広く伝えていきたいです。



デザイン工芸学科 メディア造形 4年  
西川剛弘 Takehiro NISHIKAWA

トイ・ストーリーを超える!  
夢は海外での活躍

CGを使ってキャラクターアニメーションを制作。性格や感情などを細かく設定し、いかにキャラクターに生命を吹き込むかが腕の見せ所です。それだけにシナリオづくりに力が入りますね。卒業制作では、人間の表情をクローズアップし、その魅力に迫ります。



デザイン工芸学科 立体造形 4年  
濱永大企 Daiki HAMANAGA

アイデアが出ない!  
それもまた楽し。

常にアイデアや驚きをイメージへと膨らませ、結果的に自分のイメージを超えるデザインを完成させた時の達成感最高です。課題の間には、好きな車のデザインを描いたり、車業界のことを勉強。その努力の結果、カーデザイナーとしての就職が内定しました。



デザイン工芸学科 現代表現 3年  
深山大智 Daichi MIYAMA

平面・立体・映像…  
表現の選択肢の多さも魅力

再開発地区をフィールドとした公共プロジェクトに取り組み、その地域の特性を踏まえ、公的なものと私的なものがコミュニケーションできるようなコンセプトを立案。社会性が高い分野なので自分の体験や日々の疑問なども発想のきっかけとなり、高感度なアンテナが必要です。



デザイン工芸学科 金属造形 4年  
原田 武 Takeshi HARADA

金属で侘び・寂の世界に挑戦

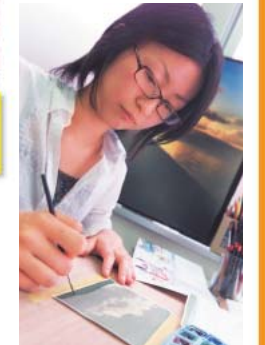
硬さと柔らかさ、相反する性質を併せ持つ金属、中でも繊細にも大胆にも表現できる銅と向き合うと、がぜん創作意欲が湧いてきます。ひかえめなのに華がある和の趣きをプラスしてオリジナリティあふれる作品づくりに挑戦。究極の侘び・寂の世界を表現したいですね。



デザイン工芸学科 視覚造形 4年  
佐々木優 Yu SASAKI

多彩な学びの中で  
大切なものを見つけた

専門的なことはもちろん、学部を超えた幅広い勉強を通して、今まで見えなかったものがたくさん見えるようになりました。思いがけない価値観も発見し、自分自身の考え方も成長。わかりやすさ楽しさを大切に、いつも見る側の立場に立って作品を創っています。





# 創造工房

## 国内最大規模のアトリエが、感動の発信地になる。

CGラボラトリーや3D工房から  
木工・石彫・金工・漆など、  
国内最大規模の充実した工房が  
創作活動をバックアップします。



日本画アトリエ



油絵アトリエ



模写室



石膏室



VRスタジオ



染工房



金属工房



漆工房



CATラボラトリー



彫金工房



3D工房



織工房



木彫工房



CGラボラトリー



版画工房



石彫工房



メディア工房







# 広島平和研究所

平和の創造へ向けて世界に情報を発信

## 核兵器の廃絶と世界平和の創造へ

世界初の核兵器による被爆を体験した「広島」。広島平和研究所は、その歴史を背景に広島市立大学の附置研究機関として開設しました(平成10年4月)。平和に関する学術研究を通じて、核兵器の廃絶に向けての役割を担うとともに、世界平和の創造・維持と地域社会の発展に貢献することを目的としています。

### 主要な研究領域

- (1) 核兵器に関する諸問題の研究
- (2) 「平和」に関する理論的研究
- (3) アジア太平洋地域における平和の構築に関する研究
- (4) 国際規模の犯罪に関する研究

## 平和実現に向けた研究活動<プロジェクト研究>

平和研究所では、当研究所研究員が中心となり、国内外の研究者や専門家等の参画を得て、特定のテーマの下に共同で研究を行う「プロジェクト研究」を実施しています。この成果を報告書として出版し、広く発信します。(★は平成18年度実施中のもの。▽は平成17年度まで。)

### 核問題、核廃絶・軍縮に関する研究

- ▽21世紀の核軍縮研究会(出版済)
- ▽東アジアの核軍縮の展望(報告書作成済)
- ▽NPT体制の再検討—広島・長崎からの提言(公開ワークショップ)
- ▽1954年ビキニ核実験による被ばく状況の実相(ミニプロジェクト)
- ★日米の芸術と大衆文化に見る原爆と核戦争の探求

### 平和と戦争・紛争の理論に関する研究

- ▽新介入主義の正統性と合理性に関する研究会(出版済)
- ▽市民に対する軍暴力:比較史的的分析(出版準備中)
- ★集団殺戮と集団暴力に関する比較研究
- ★空爆と市民—20世紀の歴史

### アジア太平洋地域の平和に関する研究

- ▽東アジアの信頼醸成メカニズムに関する研究
- ▽北東アジアの対立と協調(出版準備中)
- ▽ミャンマー・ピース・イニシアチブ(出版準備中)
- ★「阿貢」の政治学:北東アジアの集合的記憶
- ★相互依存の両コア:二国間・地域的・世界的文脈における平和に向けた取組み



プロジェクト研究・ワークショップ



国際シンポジウム

## 学生、市民、そして世界への情報発信

左記プロジェクト研究のほか平和研究所の活動状況は、逐次ホームページやニューズレターにより世界に向けて情報発信しています。また、「国際シンポジウム」や「連続市民講座」等も開催し、市民に研究成果を広く公開しています。本学においても、「広島・長崎講座」として開講している「平和と人権A(ヒロシマと国際平和)」、「平和研究Ⅰ/Ⅱ」、夏期集中講座「HIROSHIMA and PEACE」の各講座に対し、研究員が講義を担当するなど、当研究所の研究成果を教育にも活用しています。

### 広島平和研究所長

**浅井 基文**  
Motofumi ASAI  
日本政治外交論  
国際関係論

### 教授

**田中 利幸**  
Toshiyuki TANAKA  
戦争犯罪  
戦争史

### 助教授

**金 聖哲**  
Sung Chull KIM  
アジアの社会主義体系  
朝鮮半島問題

### 講師

**Robert A. JACOBS**  
科学技術史  
核兵器の歴史・文化

### 講師

**永井 均**  
Hitoshi NAGAI  
日本・フィリピン関係史  
戦争犯罪論

### 助手

**佐藤 義明**  
Yoshiaki SATO  
国際法  
アメリカ法、憲法

### 教授

**Christian P. SCHERRER**  
民族紛争  
紛争解決

### 助教授

**Narayanan GANESAN**  
東南アジア政治  
国際関係

### 助教授

**水本 和実**  
Kazumi MIZUMOTO  
核軍縮  
安全保障

### 講師

**金 美景**  
Mikyong KIM  
社会学  
北東アジア問題

### 助手

**高橋 博子**  
Hiroko TAKAHASHI  
アメリカ史  
グローバルヒバクシャ

### 助手

**竹本真希子**  
Makiko TAKEMOTO  
ドイツ近現代史

# 国際交流



ハノーバー専科大学教員によるワークショップ

## 海外学術交流協定大学への学生派遣

本学は、ハノーバー専科大学、アラヌス大学、ベルリン・バイセンゼー芸術大学(以上ドイツ)、ハワイ大学マノア学校(アメリカ)、オルレアン大学(フランス)、西京大学(韓国)の6大学と学生交換事業を行っています。学生交換事業による留学は、本学に在籍したまま上記の大学へ半年、あるいは1年間留学するものです。語学力を高めることができるだけでなく、派遣先の大学で修得した単位は、一定の条件のもとで本学の単位に認定されるので、計画的に単位を修得しておけば留学によって在籍期間を延長することなく卒業することができます。

## 海外語学研修参加による単位取得

本学から毎年たくさんの学生が海外で行われる短期語学研修に参加しています。研修に参加すると語学科目の単位として2単位が認められる制度があります。本学で開講されている8外国語すべてが対象になります。

## 海外から留学生を積極的に受け入れ

広島市立大学では、各国からの留学生、特にアジアからの留学生の受け入れに積極的に取り組んでいます。そのために、日本語や日本の事情を学ぶ科目を充実させ、奨学金の紹介や外国人教員の任用を進めています。

## 海外語学研修補助事業

学生が希望する海外の大学又は研修機関で語学研修を受ける場合、往復旅費と研修費用が補助対象となります。対象となる外国語は、特に制限はありません。補助金交付対象者は、2年生以上の学生で広く学内から公募されます。応募者が多い場合には、本学での成績や面接等で選考されます。

### 【平成17年度学生海外語学研修補助事業(実績)】

学部	研修期間	研修先
国際学部	H17.8.7 ~H17.9.6	カナダ・バンクーバー/ウエスタン・タウン・カレッジ
	H18.2.25~H18.3.26	イギリス・ロンドン/セントジャイルズ・インターナショナル
情報科学部	H17.8.13~H17.9.10	オーストラリア・シドニー/アクセス・ランゲージ・センター
芸術学部	H17.8.28~H17.9.29	ドイツ・ミュンヘン/EF インターナショナル・スクール

# 産学官連携

### 産学官連携推進室長

**佐野 学**  
Manabu SANOU  
情報科学部教授

### 知的財産マネージャー(教授)

**加藤 直規**  
Naoki KATOU  
専門分野:知的財産管理  
最終学歴:工学博士

本学は、公立大学として、最先端の研究成果や最新技術(シーズ)を企業・産業界の要望(ニーズ)に応じて提供し、新規事業の創出や、産業の高度化等、地域の企業・産業の活性化に貢献する役割を担うために、学外の関係諸機関と積極的に連携を図りながら、産学官連携を推進するための企画、運営や連絡調整を行う窓口として産学官連携推進室を設置しています。

# 公開講座



## 地域のニーズに応じて

広島市立大学は、地域に開かれた大学として、地域の文化・産業の発展に貢献することが期待されています。社会全体の生涯学習ニーズの高まりのなかで、身近な生涯学習機関として大学の果たす役割は大きいものがあります。広島市立大学では、こうしたニーズに適切に対応していくため、広く市民の方々を対象とした、様々な分野での公開講座を積極的に開催しています。また、広島市教育委員会などが主催し、各大学が連携して公開講座を行うシティカレッジにも参加しています。公開講座は、開学した平成6年度から実施しており、平成17年度は、次の内容で開催し、約500名の方が受講されました。

### 【平成17年度公開講座】

#### 国際学部

連続講座  
「持続可能な社会を築くために(Ⅲ)—21世紀の市民と人権:より公正な社会をめざして—」

#### 情報科学部

講演会  
「自然から学ぶアルゴリズム」  
「自分のゴミは自分で処理しない」  
連続講座  
「基礎からの情報科学~コンピュータの基礎理論とこれからのネットワーク社会~」  
実習  
「はじめてのLinux集中講義」  
研究・発表会  
「高校生による情報科学自由研究」

#### 芸術学部

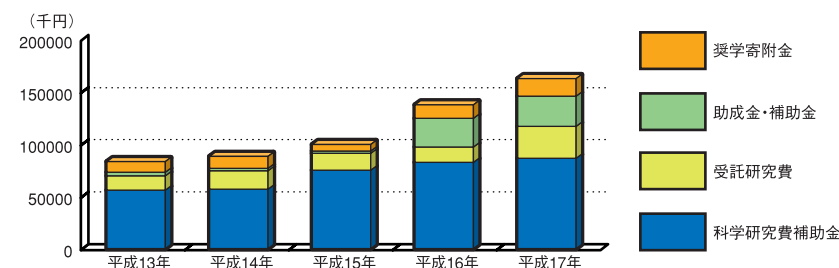
〈一般向け公開講座〉  
「日本画コース」  
風景画の制作  
「油絵・版画コース」  
油絵専門コース:人体20号の制作  
油絵一般コース:人体F15号の制作  
版画コース:銅版画の制作  
「彫刻コース」  
塑造で人体胸像の制作  
「デザイン工芸コース」  
漆コース:漆の箸と箸置き制作  
空間造形コース:紙による形体構成とカメラ撮影  
「アニメーションアカデミー」  
国内著名作家を招いての講演・ワークショップ、計4回

〈中・高校生向けサマースクール〉  
「日本画コース」  
4号程度の日本画制作、日本画材料体験など  
「彫刻コース」  
高校生:木炭デッサン、粘土制作  
中学生:鉛筆デッサン、粘土制作  
「油絵コース」  
石膏デッサン及び講習会  
「デザイン工芸コース」  
平面作品の制作及び講習会など

# 外部資金の活用

本学の教員は、国の制度である科学研究費補助金や民間の各種財団からの助成金を受けて積極的に学術研究活動を展開しています。これらの外部資金を活用し、独創的・先駆的な研究に取り組んでいます。

## 外部資金獲得金額の推移



## 平成18年度科学研究費補助金

### (1) 申請交付決定状況

学部	申請状況	交付決定状況
国際学部	30件 60,441千円	13件 24,100千円
情報科学部	81件 165,588千円	33件 46,800千円
芸術学部	5件 13,033千円	3件 2,300千円
平和研究所	7件 7,940千円	5件 4,500千円
合計	123件 247,002千円	54件 77,700千円
内定率		44%

### (2) 交付決定内訳

研究種目名	件数	交付決定額
基礎研究(A)	1件	8,100千円
基礎研究(B)	6件	12,800千円
基礎研究(C)	21件	23,600千円
特定領域研究	1件	5,000千円
萌芽研究	1件	1,000千円
若手研究(B)	24件	27,200千円
合計	54件	77,700千円



# 学部のワクを越えた 刺激に満ちている。



広大なキャンパスは、どこをとっても  
絵になるスポットがいっぱい。清  
先端なるスポーツが吹けば、いっ  
新風が彩るとこの学び場には、  
な風が吹くこの学び場には、

- 1 本部棟
- 2 講堂
- 3 附属図書館・語学センター棟
- 4 学生会館
- 5 情報科学部棟
- 6 情報科学部棟別館
- 7 国際学部棟
- 8 芸術学部棟
- 9 情報処理センター
- 10 講義棟
- 11 芸術資料館
- 12 工房棟
- 13 体育館
- 14 グラウンド
- 15 400メートルトラック・フィールド
- 16 エネルギーセンター
- 17 多目的広場
- 18 学生寮



講堂

壁面レリーフや舞台の緞帳などに芸術学部  
教員たちの作品を活かした、本学ならではの  
施設。大小のホールと、ハイビジョン対応大  
型スクリーンや国際会議も可能な同時通訳  
設備と、機能も充実しています。



医務室・学生相談室

心身の健康上の悩みや相談に応じ、学生  
の「疾病の予防」と「健康相談」を中心に  
健康の維持増進を図ります。



グラウンド

全天候型のテニスコート4面と、野球、サッ  
カーなどが可能な運動場があります。サーク  
ル、クラブ活動以外でも、利用することが  
できます。



体育館

バスケットコートが2面取れるアリーナや、本  
格的なトレーニングルーム等を備えた体育館。  
授業やクラブ、サークル活動のほかにも、多  
目的な利用が可能です。

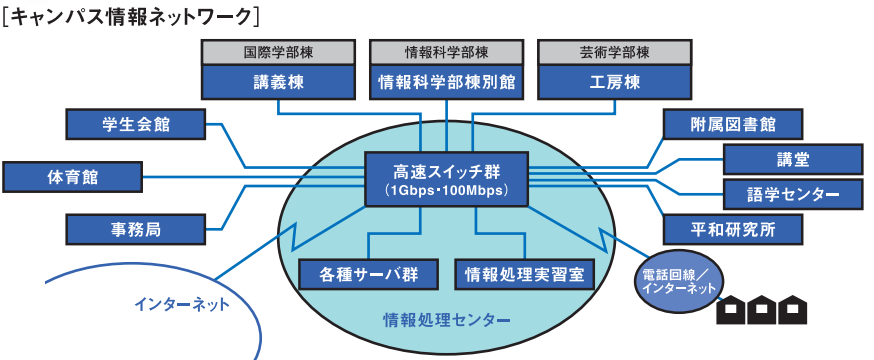


学生会館

学生食堂やクラブハウス、売店、キャシュ  
ディスプレイコーナーなど、学生生活に欠  
かせない機能がそろっているのが、ここ。な  
かでも、学生食堂は、吹き抜けの天井から太  
陽の光が射し込む心地よい空間。ランチメ  
ニューも充実しており、カフェテリアのラウン  
ドテーブルでランチしたり、お茶したり。文字  
どおり学生たちの「たまり場」となっています。

## 附属施設

教育を支援する附属施設群。しっかり活用してください。



附属図書館  
附属図書館長  
服部 等作  
Tohsaku HATTORI  
芸術学部教授



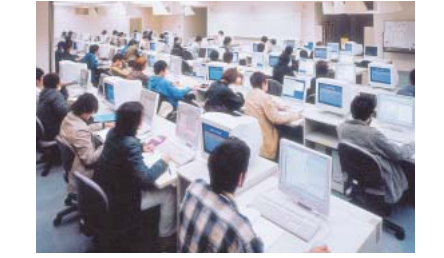
図書約26万冊、雑誌約810誌、視聴覚資料約740タイトルをコン  
ピュータで集中管理。必要な資料をスピーディーに入手できます。  
ゆったりと、自然光を取り入れた気持ちの安らぐ空間設計も特徴。  
地域に開放された図書館です。

語学センター  
語学センター長  
宇野 昌樹  
Masaki UNO  
国際学部教授



語学センターの各教室はCALL(コンピュータ支援言語学習)システ  
ムを備え、通訳訓練やオンライン翻訳といった授業だけでなく、英語  
のリーディング、リスニング、ライティング、スピーキングを徹底的に訓  
練する。Webを利用した自習形式の集中講座用の教室としても利用  
されています。自習室では、約2,700の視聴覚教材や各種語学雑誌、  
NHK各言語講座テキスト・CDが利用可能で、リアルタイムの外国テ  
レビ放送を視聴できるなど、語学学習を授業・自習ともにサポートする、  
快適な学習施設です。留学や外国語の試験情報も提供しています。

情報処理  
センター  
情報処理センター長  
北村 俊明  
Toshiaki KITAMURA  
情報科学部教授



キャンパス情報ネットワークやインターネット接続のための通信機  
器を備え、高速で高品質の各種情報通信サービスを提供していま  
す。情報処理実習室にはパソコン約200台が設置され、情報処  
理教育や学生の自習に活用されています。また、講義棟に設置さ  
れた遠隔教育設備の技術支援や大学情報サービスの運用管理の  
支援を行っています。

芸術資料館  
芸術資料館長  
植草 正勝  
Masakatsu UEKUSA  
芸術学部教授



平山郁夫、久保守、淀井敏夫、喜多俊之、ヴィコ・マジストレッティ  
など、国内外の作品を、芸術参考品として収蔵。企画展を開催す  
るなどして市民に公開しています。



## 2006年度スケジュール Schedule



[前期 (4月1日～9月30日)]

- 4月 1日(土)～4月 6日(木) 春季休業
- 4月 4日(火) 入学式
- 4月 5日(水)・4月 6日(木) オリエンテーション
- 4月 3日(月)～4月 7日(金) 在学生定期健康診断
- 4月 7日(金) 前期授業開始
- 4月 7日(金)～4月20日(木) 前期履修手続期間
- 6月14日(水) 開学記念日(授業実施)
- 7月21日(金)～8月 3日(木) 前期定期試験
- 8月 4日(金)～9月30日(土) 夏季休業

### オープンキャンパス 8月4日(金)・7日(月)

キャンパス見学や学部紹介、ミニ授業など、  
本学志望者や保護者に大学を公開。



クリーンキャンペーン

## クラブ・サークル活動

### Club&Circle

#### 体育系

- [クラブ]
  - 女子バスケットボール部
  - 空手道部
  - サッカー部
  - ラグビー部
  - 市大テニス部
  - 軟式野球部
  - トライアスロン部
  - 剣道部
  - 男子バスケットボール部
  - 弓道部
  - アーチェリー部
  - バドミントン部
  - 男子バレーボール部
  - 陸上競技部
  - ワンダーフォーゲル部
  - 水泳部
  - 競技ダンス部
  - 女子バレーボール部
  - 少林寺拳法部
  - 武産合気道部
  - ダンス部
- [サークル]
  - FC海人(うみんちゅ)
  - フザービーター
  - (バスケットボール)
  - T.A.S.(ソフトテニス)
  - TENSION(硬式テニス)
  - 卓球サークル
  - SPLIT(ボウリング)
- [その他]
  - Edinburgh(ビリヤード愛好会)
  - けんだあーま(けんだま愛好会)



#### 文化系

- [クラブ]
  - 茶道部表千家
  - 裏千家茶道部
  - 自主制作映画研究会
  - 農学部
  - Music Art Club
  - 陶芸部
  - マンドリン・ギター部
  - 吹奏楽部
  - 演劇部
  - Table Game研究会
  - 上田宗箇流茶道部
  - 電子音楽部
  - 版画部
  - CREATIVE
- しゃみせん友の会
- 市大新聞部
- Focus on Asia Club
- マスコミ研究会
- 写真部
- ねっこ広島
- ヒストリアン
- [サークル]
  - 熊貓(パンダ)会
- [その他]
  - Sign(手話愛好会)
  - 国際学部学生自治会MORE



# キャンパスライフを、有意義に!

前期

4

5

6

7

8

9

後期

10

11

12

1

2

3



大学祭

### 企業に対する大学説明会 1月9日(火)

企業の採用責任者を招いて、教育研究内容の  
紹介や就職情報の交換をする催し。

[後期 (10月1日～3月31日)]

- 10月 2日(月) 後期授業開始
- 10月 2日(月)～10月13日(金) 後期履修手続期間
- 10月28日(土)・10月29日(日) 大学祭
- 12月23日(土)～1月 8日(月) 冬季休業
- 1月30日(火)～2月23日(金) 後期定期試験
- 2月24日(土)～3月31日(土) 学年末休業
- 3月23日(金) 卒業式



卒業式



# 進化するサポート体制

大学生活を支える二つのサポート

## 就職・ キャリア形成の サポート

入学から卒業・就職まで“学生のために”を合言葉に大学生活のあらゆる面をサポートし、それも毎年、進化しています。

大学の役割は人材育成。優れた人材を育て、社会に送り出すことが使命だと考えています。  
開学以来ほぼ97%前後の就職率を維持していますが、単に就職率を上げるだけでなく、4年間を通じて、一人ひとりの進路(進学・就職・創作活動など)に対して大学をあげてサポートしています。

### 進路支援の二大特徴

#### きめ細かな個別支援

マンモス大学と違い、入学時から全ての学生にきめ細かくサポートしているのが特徴です。進路においても同じ。就職活動期の学生に限らず、1年生から進路相談を行い、個々の志望や適性などに沿って“きめ細かく”指導・支援していきます。

#### 大学をあげての支援

大学をあげて進路支援に取り組みます。毎年、大学説明会を開催し、企業の採用担当者の方へPRするほか、一年を通じて、企業訪問などにより情報収集し学生に提供しています。

### 充実した進路・就職ガイダンス・セミナー

就職活動の方法など総論的なものから実践的なものまで、全学年対象として、年間40回以上の進路・就職ガイダンス・セミナーを開講しています。一例をあげると、学部別の進学・就職説明会、5回の就職ガイダンス(就職活動の流れやポイント)、先輩との就職相談会、面接・筆記試験対策講座、学内での企業セミナーなどです。これらのガイダンス・セミナーのほか、企業見学や公務員試験模試、教員採用試験の実践指導なども、就職対策としてきめ細かく行っています。しかし、学生の多様な進路志望に応えるために、もっともっと充実させていくのが目標です。

### インターンシップ

企業などで実習体験する「インターンシップ」をキャリア形成の柱の一つに位置づけています。単に体験するだけでなく、実習と事前セミナーや報告会とを組み合わせ、実になるものを目指しています。しかし、まだまだ参加者や協力企業等とも多いとは言えず、インターンシップ研修の充実や協力企業の開拓にも取り組んでいます。また、広島市教育委員会と連携して、教員志望者を対象とした広島市立学校での実習体験活動を始めています。

### キャリア形成支援への取り組み

これまでの就職支援・対策に加え、キャリア形成を支援するための授業科目の新設など、入学後早期からの体系的な「キャリア形成プログラム」の構築・実施に取り組んでいます。

## 大学生活の サポート

授業やクラブ活動をはじめ、心身の健康や経済的なことまで、  
在学中のあらゆる生活をサポートします。

### 経済面をサポート

「日本学生支援機構奨学金」をはじめ、民間奨学団体や自治体など、さまざまな奨学金を扱っています。また、特別な事情がある場合は、一定の要件で入学検定料や入学金、授業料の減免や納付の猶予を行っています。アルバイトについても家庭教師などさまざまな情報を提供しています。

### 住居・生活をサポート

キャンパス内に学生寮(個室・男女各48室)があり、全国の学生や留学生が入寮し、共に生活しています。もちろんアパート・ワンルームマンション・下宿などの賃貸情報も提供。マルチ商法やクレジット・トラブルに巻き込まれた時などのため、弁護士による法律相談も行っています。

### 心身の健康・安心をサポート

学生の“いやしの場”にもなっている医務室では、ケガや病気の処置はもちろんのこと、健康相談も行っています。また、心配事や悩みを聞いたり、落ち込んだ時の支えとなる、あるいは“自分探し”を手伝う学生相談、楽しくスポーツができるようにトレーニング方法などを体育教員がアドバイスするスポーツ相談も実施しています。さらに通学中や学内、クラブ活動中にケガした時などのために傷害保険・賠償責任保険への加入や、個人ロッカーの無料貸し出しなど、快適な学生生活が送れるように配慮しています。

### エンジョイをサポート

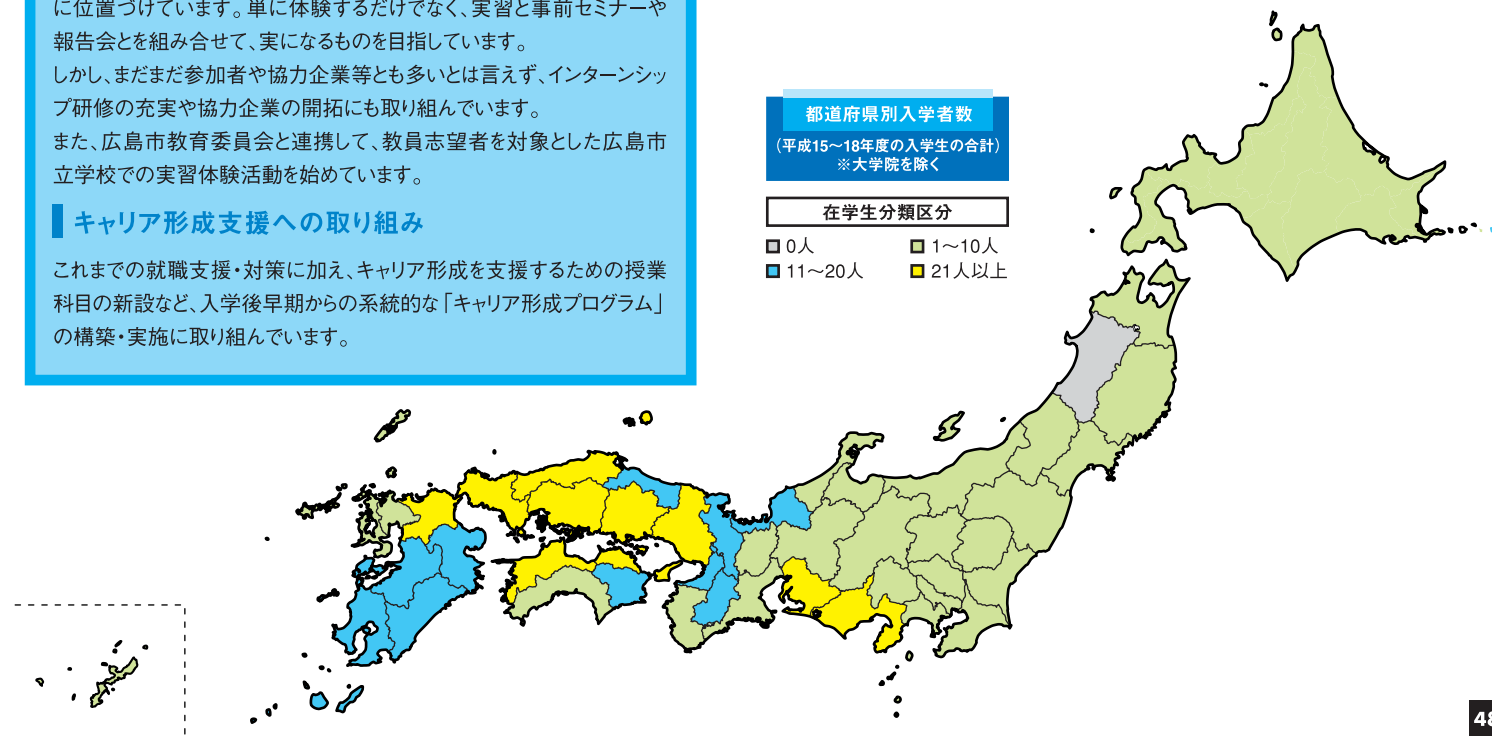
クラブ・サークル活動費や備品整備費、大学祭や西風新都駅伝大会などの学生主催イベント経費をはじめ、学生が企画・参加して留学生や外国人と交流する国際交流事業、自主研究活動や展覧会などを行う場合の経費を大学後援会から助成しています。また、ボランティア情報コーナーを設置してボランティア情報も提供。毎年5月の「ひろしまフラワーフェスティバル」でのクリーン・キャンペーンには他大学とも協力して多数の学生が参加するなど、幅広い活動を行っています。その他、サッカーボールやキャンブ・レジャー用品、視聴覚機器などの無料貸し出しも行っています。

#### 都道府県別入学者数

(平成15～18年度の入学生の合計)  
※大学院を除く

#### 在学生分類区分

- 0人
- 1～10人
- 11～20人
- 21人以上









## 自ら動くことで仕事も自分も発展する

2002年 情報科学研究科 博士前期課程修了

豊田 輝隆 Terutaka TOYOTA

株式会社エヌ・ティ・ティ・ドコモ 勤務



携帯端末を利用した新しい企業向けサービスを実現するためのシステム開発、それに伴うシステム仕様の決定が私の主な仕事です。この業界は技術の進歩もめざましく、新しいサービスが次々と生み出されています。新しい知識・技術を学ぶ時に基礎知識があるかどうかで差が出てくるので、大学で情報分野全般を学べたことは私にとって大きな財産です。また、大学院での研究を通して養った課題を発見し解決する基礎能力、そして英語

力は、自ら行動する力となって、私を後押ししてくれます。大学は多くの先生・友人に囲まれ、楽しい思い出を作れる場所であると同時に、社会に出るための最後の準備をするところ。市大は、方向性の異なる学部が1箇所に集まり、いろいろな刺激を受けることができ、最新の設備も整っています。そのふたつのことを実現するための環境として最高だと思います。

## 責任ある仕事に大きな手ごたえ

2005年 情報科学研究科 博士前期課程修了

行松 健一 Kenichi YUKUMATSU

マツダ株式会社 勤務



シート・乗務員保護開発グループに所属し、シートベルトやエアバッグ、ステアリングの開発に携わっています。人命に関わる部品だけに責任が重く、緊張感も伴います。また、他のパーツや部品との整合性をとる必要があるため、他部門とのコミュニケーションは欠かせません。シビアでとても手強い仕事ですが、それだけ大きなやりがいも感じます。若いうちから責任ある仕事を任せられる風土が私を成長させてくれます。仕事に求められる目的意識を

持つことや論理的に物事を考えていく習慣は、市大時代に培ったもの。企業出身の先生方が多く、大学院での研究を社会で活かせるように、様々な角度からアドバイスして下さったことも大きいです。現在の目標は、新車種のレイアウトから量産までの工程で、自部品の設計業務を一人で責任を持って手掛け、ユーザーに満足していただけるものを提供すること。その実現に向けて、今は何事にも好奇心をもち勉強するのみです。

情報科学部卒業後は、大きく2つの進路があります。  
会社員、公務員、教員として、社会に巣立つコースと、  
さらに専門知識・技術を磨くため大学院に進学するコースです。

### 企業に就職

今、最も注目されている情報分野の知識・技術を習得した情報科学部の学生は、卒業後も、情報通信、ソフトウェア、情報機器製造、システムエンジニア、コンピュータなど、時代の最先端の企業にて活躍しています。これまで、次のような企業に就職しています(五十音順)。

※企業総数 約600社のうちの抜粋

- KDDI
- NECシステムテクノロジー
- NECソフト
- NECフィールドエンジニア
- NTTソフトウェア
- NTTデータ
- NTTドコモ
- NTTドコモ中国
- アルファシステムズ
- エネルギア・コミュニケーションズ
- キヤノン
- キヤノン販売
- シャープ
- シャープビジネスコンピュータソフトウェア
- セイコーエプソン
- ソニー
- ソニーLSIデザイン
- テオデオ
- デンソー
- マツダ
- メイテック
- ローム
- 伊藤忠テクノサイエンス
- 沖電気工業
- 京セラコミュニケーションシステム
- 熊平製作所
- 佐竹製作所
- 三洋電機
- 住友金属システムソリューションズ
- 積水ハウス
- 大日本スクリーン製造
- 大日本印刷
- 中電工
- 東芝
- 東芝ITソリューション
- 東芝情報システム
- 日本IBM
- 日本IBM中国ソリューション
- 日本電気
- 日立アドバンスデジタル
- 日立システムアンドサービス
- 日立ソフトウェアエンジニアリング
- 日立製作所
- 日立中国ソリューションズ
- 浜松トニクス
- 富士ゼロックス
- 富士ソフトABC
- 富士通
- 富士通エフ・アイ・ピー
- 富士通九州デジタル・テクノロジー
- 富士通中国システムズ
- 船井電機
- 松下AVCマルチメディアソフト
- 松下電器産業
- 松下電器システム広島研究所
- 三菱重工
- 三菱電機
- 横河電機

### 大学院に進学

情報科学部の卒業生のうち、例年、約40%の学生が本学の大学院に進学しています。また、他大学の大学院に進学する学生もいます。これまで、九州大学、京都大学、神戸大学、静岡大学、東京工業大学、奈良先端科学技術大学院大学、広島大学、筑波大学などの大学院に進学しています。

### 公務員・教員

一般企業のほか、公務員や教員として活躍している卒業生もいます。これまでの主な進路は、神奈川県教員、国土交通省中国地方整備局、財務省造幣局、中国管区警察局、広島県警察本部、広島市教員、広島市役所、防衛庁海上自衛隊、防衛庁航空自衛隊、などです。

## 継続は力なり。

2005年 芸術学研究科 総合造形芸術専攻 博士後期課程修了

正司 強 Tsuyoshi SHOJI

彫刻家



大学院修了後の進路を考えたとき、改めて自身の存在価値を見出せるのは彫刻しかないと思い、作家として活動していくように決めました。今春、初の個展「THE NUDE」を開催し、多くの人との出会いがあり、沢山の意見交換などができて非常に良い勉強になりました。現在の作品テーマは、理性と本能の葛藤。素材は鉄板。ドローイングやエスキスなしに、イメージをいきなりカタチにすることが多く、素材としっかり向かい合い対話しながら、というよりはむしろ格闘しながら制作しています。しばらくはこのスタイルにこだわり、今後も彫刻をつくり続けることで、自分らしさを深めていきたいと思っています。やめることは簡単かもしれない。潔くやめるのも良いかもしれない。でも、私にとって継続していくことが重要なんです。自分で決めたことだから。

## 心のままに。したいことをしよう。

2003年 芸術学部 デザイン工芸学科卒業

中道 裕大 Hiroo NAKAMICHI

漫画家



週刊少年サンデーに「ハルノクニ」を連載中です。毎週やってくる締め切りを厳守するのは相当なプレッシャーですが、「先週よりは良い絵を描こう」と思って、今、出せる力を出し切って描いています。ファンの方からメールやレターをいただくのが一番の喜び。徹夜のつらさも忘れてしまいますね。市大の良さは、授業やサークルを通して他学部の人も触れあえること。自分とは違った分野で高いスキルを持つ人と出会うことは、モノを創る上でとても貴重なことだと思います。アートの世界には、コレという定義がありません。それだけに迷うことも多いけれど、「こうしなきゃ!」ではなく、したいことをする。そこからしか良いものは生まれてこないと思っています。

### 創作活動

#### 入選

院展、春の院展、雪舟の里総社墨影画展、川尻町「筆と芸術の祭典」全国水墨画展、国民文化祭美術展、前田青柳記念大賞展、松柏美術館花鳥画展、多摩総合美術展、中国第3回全国水彩画展、新制作展、インド国際トリエンナーレ、雪舟すだ大賞展、北陸中日美術展、関西国展、国展、現代日本絵画展宇部ビエンナーレ、リキテックス・ビエンナーレ、FUKUIサムホール美術展、雪梁舎フレンツェ賞展、広島県美術展、二科展、二科展広島展、青垣日本画展

#### 入賞

三田市展(奨励賞)、春の院展(奨励賞)、松柏美術館花鳥画展(優秀賞)、大阪絵画トリエンナーレ(特別賞)、青年美術家展(最高賞)、シルバンギャラリ-油彩画展(最高賞)、バングラディッシュ国展(佳作賞)、「広島美術展」(奨励賞)、関西新制作展(記念賞・大阪市賞)、新制作展(新作家賞)、全国学生版画展(優秀賞)、雪梁舎フレンツェ大賞展(優秀賞)、国民文化祭美術展(広島市長賞)、FUKUIサムホール美術展(奨励賞)、しんわ大賞展(努力賞)、しんわ美術賞展(大賞)、ビエンナーレKUMAMOTO(熊本文化協会賞)、大調和展(東京都知事賞)、二科展(記念賞・特選)、二科展広島展(広島二科賞・広島市長賞)、日本伝統工芸展(東京都知事賞)、京展(京都市美術館賞・コレクション賞)、ボンベイサファア デザインコンペティション(日本グランプリ)、東京デザイナーズウィーク(Tokyo Design Premio学校賞・デザインプレミオ賞・喜多俊之賞・100%デザイン賞)、日本版画会展(奨励賞・会友賞)、Bloomberg new contemporaries、白日展(白日賞)

#### グループ展・個展

芸美会展、HOPES、新星展、日本画4人展、日本画5人展、日本画2人展、母娘展、広島の絵画110人展、日本画・油絵有志合同展、ハタチゼンコ展、+C展、第1回240展、事項展、蝸牛展、想像展、ummi展、萌黄展、ふうの会展、exhibition1995・1997、桐美会展、中韓交流展、YAZIRU同盟展、西美研展、ロイヤル・オーバーシーズリーグ展、富田賞候補作家展、バングラディッシュ美術展ポナール・サマーフェスティバル、視展、RUBICON展、ネットギャラリ-BOX個展、sight展、かえるてん、8colors exhibition、NORMAL展、象の会展、LUNCH BOX「遊」、「若き画家たちからのメッセージ2002」展、e.e.展、有朋展、洋画四人展、現代Asian Art Now、99312展、ポリッシュモ展、state展、表象都市metamorphosis広島-芸術実験プロジェクト2003、東広島現代芸術プログラム2003「白市DNA」、アストラムライン・ミニギャラリ-ART COMMUNITY「TOMO」、広島デザイナーズフェスタ、金属造形展、現代美術交流展その他、グループ展・個展 多数

### 就職先一覧「五十音順、敬称略」

- (株) アーツ
- アートコレクションハウス(株)
- (有) アートディレクト
- アイメディア(株)
- 朝日精版印刷(株)
- 穴吹デザイン専門学校
- (有) アルフォックス
- (株) アルファ
- (株) いかりスーパーマーケット
- イケダ(株)
- (株) 石友
- (株) インフォ・エヌ
- (株) ウイングツウ
- (株) 内田洋行
- (株) ウッドワン
- H.B.ドリームベット(株)
- (株) オガワ
- (株) 小樽工芸舎
- (株) 勝矢和哉
- (有) 家庭学習研究社
- ガリシア・レイノ(株)
- (株) 河崎組
- (株) 川島織物
- (株) 河部工業所
- 演陽大学(韓国)
- 九州日本印刷(株)
- 串井木材(株)
- クロムスペシャリティー
- (株) ケイ・ウノ
- (株) KG情報
- (株) 深木社
- (株) コトキ
- コナミキャリアマネジメント(株)
- コミー(株)
- さきたまデザインセンター(株)
- (株) ビーエーワークス
- 産興(株)
- 三徳商事(株)
- (株) サンワ
- シュータプロジェクト
- (株) ジェイ・エム・エス
- (株) ジャパンプリントシステムズ
- (株) 鈴花
- (有) スタジオ雅雅
- (株) ステージユニオン広島
- ストーンハウス
- スマイルchanランチ
- (株) 生活考房
- セキ(株)
- (株) 総合オリコ社
- (株) 創美企画
- SOLALA.Co.,Ltd.
- 大成印刷(株)
- 大和グラフィカ(株)
- 高島華宵大正ロマン館
- 鑑定(株)
- (株) タックルボックス
- 中外テクノス(株)
- D-コロソ研究所
- (株) TSSプロダクション
- (株) デザイン総研広島
- デジスタッフ
- (株) 電通
- トーホー(株)
- (株) トッパンアイデアセンター-西日本
- (有) 家庭学習研究社
- 豊田紡織(株)
- (株) ナウプロダクション
- (株) ニシキプリント
- 西日本印刷(株)
- 日本建築(株)
- 日本サンガリアパベルリカンパニー
- 任天堂(株)
- (株) ネットワークス
- (株) 博展
- (社福) パスビ
- バッケンモーツァルト
- (株) ハドソン
- (株) ハル研究所
- (株) ハルラボラトリー
- パンビ(株)
- (株) ビーエーワークス
- 東原産業(株)
- (社福) ひさわ福祉会
- 広島県教育委員会
- 広島市関係団体
- 広島市教育委員会
- (株) ジャパン印刷システムズ
- 広島舟入商業高等専修学校
- 広島三菱ふそう自動車販売(株)
- (有) ヒロミ・アート
- (株) フェスタ
- (株) フランドル
- (株) ボーラ
- (株) ボックスインク
- (株) ボニーキャニオン
- (株) ホロンクリエイト
- (株) ホンダ産業
- マツダ(株)
- まつやセロファン(株)
- (株) マルニ
- (株) ミスト
- (有) 無二
- (有) 村上染飾工房
- (有) メディクス
- (株) ライオン事務器
- (株) ワールド ストア パートナーズ
- (株) ワイズ
- (有) ワタナベ
- 渡辺デザイン事務所



## ■ 何人募集するの？

学 部	学 科 ・ 専 攻	募 集 人 員				
		一 般 選 抜		特 別 選 抜		
		前期日程	後期日程	推 薦 入 学		外 国 人 留 学 生 特 別 選 抜
				市内公募	全国公募	※(注2)参照
国際学部	国際学科	60	20	10	10	若干名
情報科学部 ※(注1)参照	情報工学科	130	40	20	20	若干名
	知能工学科					
	システム工学科					
芸術学部	美術学科	10				若干名
	日本画専攻	20				若干名
	油絵専攻	10				若干名
	彫刻専攻	40				若干名
	計	40				若干名
	デザイン工芸学科	80				若干名

(注1) 情報科学部の募集は学部一括で行い、学科への配属(各学科定員:70人)は2年次後期までに行います。  
 (注2) 外国人留学生特別選抜の募集人員「若干名」は、一般選抜の募集人員に含まれます。

## ■ 試験はいつ？

	出 願 期 間	個別学力検査等期日	合格発表
推薦入学	平成18年11月 1日(水)～平成18年11月 7日(火)	平成18年11月18日(土)	平成18年11月30日(木)
前期日程	平成19年 1月29日(月)～平成19年 2月 6日(火)	平成19年 2月25日(日) (芸術学部は下表の日程)	平成19年 3月 7日(水)
外国人留学生特別選抜			
後期日程 (芸術学部は実施しない)		平成19年 3月12日(月)	平成19年 3月21日(水)

学 科 ・ 専 攻	日 程	備 考	
美術学科	日本画専攻	第1次 (実技)2月25日(日)／2月26日(月) 第2次 (実技)3月 1日(木)／3月 2日(金)	第1次実技検査の合格者は募集人員の4倍程度
	油絵専攻	(実技)2月25日(日)～2月28日(水)	
	彫刻専攻	(実技)2月26日(月)～3月 1日(木)	
	デザイン工芸学科	(実技)2月25日(日)～2月27日(火)	

(注) 外国人留学生特別選抜試験では、全学科で面接を行います。

## ■ 昨年は何人受験したの？

学 部	学 科 ・ 専 攻	試験区分	志願者数	受験者数	合格者数	倍率
国際学部	国際学科	推薦入学(市内公募)	26	26	12	2.2 倍
		推薦入学(全国公募)	48	48	13	3.7
		前期日程	229	220	72	3.1
		後期日程	253	149	25	6.0
情報科学部	情報メディア工学科	推薦入学(市内公募)	30	30	18	1.7
	情報工学科	推薦入学(全国公募)	41	41	20	2.1
	知能情報システム工学科	前期日程	336	318	154	2.1
	情報機械システム工学科	後期日程	395	175	48	3.6
芸術学部	美術学科	日本画専攻	62	59	12	4.9
		油絵専攻	79	79	22	3.6
		彫刻専攻	29	26	11	2.4
		デザイン工芸学科	前期日程	162	158	49

## ■ 合格者の成績は？

学 部	試験科目区分	配点	最高点	最低点	平均点
国際学部	大学入試センター試験	600	550.80	445.40	485.79
	個別学力検査等	400	309.00	173.00	250.86
情報科学部	大学入試センター試験	1,100	913.40	659.60	779.96
	個別学力検査	700	517.00	271.00	381.20
芸術学部	大学入試センター試験 ※個別学力検査等の成績は非公開	600	525.40	176.60	391.54

(注) 1.各得点は、小数点第3位を四捨五入しています。 2.配点は、大学入試センター試験の素点を本学の配点に加工しています。

学 部	試験科目区分	配点	最高点	最低点	平均点
国際学部	大学入試センター試験	400	357.30	280.30	322.63
	個別学力検査等	400	269.00	181.00	223.08
情報科学部	大学入試センター試験	750	651.75	444.00	557.94
	個別学力検査	350	259.00	110.00	192.75

## ■ 試験科目は？

学部・学科・専攻	学力検査等区分	大学入試センター試験の利用教科・科目名		個別学力検査等		
		教科	科目名等	科目名等		
国際学部 国際学科	前期	国 地歴 公民	国 世A、世B、日A、 日B、地理A、地理B 現社、倫、政経 } から1	小論文 (日本語と英語による出題)		
	後期	数 外	「数Ⅰ、数Ⅰ・数Aから1」と 「数Ⅱ・数B、工、簿・会、情報から1」 英、独、仏、中、韓から1 [3教科3科目又は3教科4科目]	総合問題 (現代世界の諸問題に関する 理解力、分析力、思考力をみる)		
情報科学部 情報工学科 知能工学科 システム工学科	前期	国 理 外	国 数Ⅰ・数Aと「数Ⅱ・数B、工、簿・会、情報から1」 物Ⅰ、化Ⅰ、生Ⅰから1 英、独、仏、中、韓から1 [4教科5科目]	数Ⅰ、数Ⅱ、数Ⅲ、数A、数B、数C 物Ⅰ・物Ⅱ、化Ⅰ・化Ⅱから1 英Ⅰ、英Ⅱ、リーディング、ライティング		
	後期	数 理 外	数Ⅰ・数Aと「数Ⅱ・数B、工、簿・会、情報から1」 物Ⅰ 英 [3教科4科目]	数Ⅰ、数Ⅱ、数Ⅲ、数A、数B、数C		
芸術学部	美術学科	前期	日本画専攻	国 地歴 公民 数 理 外	国 世A、世B、日A、日B、 地理A、地理Bから1 現社、倫、政経から1 数Ⅰ、数Ⅰ・数A、数Ⅱ、 数Ⅱ・数B、工、簿・会、 情報から1 理総A、理総B、物Ⅰ、 化Ⅰ、生Ⅰ、地Ⅰから1 英、独、仏、中、韓から1 [3教科3科目]	実技検査 [鉛筆素描、着彩写生]
			油絵専攻	から2	実技検査 [石膏像デッサン(木炭)、油彩]	
			彫刻専攻	から2	実技検査 [石膏像デッサン(木炭)、塑造]	
			デザイン工芸学科	から2	実技検査 [鉛筆素描、感覚考査(平面)、 感覚考査(立体)]	

■ 願書はどこでもらえるの？ 推薦入学学生募集要項、一般選抜学生募集要項及び外国人留学生特別選抜募集要項は、平成18年9月上旬に発表する予定です。  
 (学生募集要項の請求方法) なお、下記(1)・(2)・(3)の方法で発表時期以前に申し込んだ場合、予約受付ができます。

### (1) 郵便局での請求

(10月から案内開始。一般選抜学生募集要項に限る。)

郵便局に設置されている「全国 国公立大学・短期大学、私立大学・短期大学募集要項(願書)請求申込書」(入学願書ゆうパックカタログ)に必要事項を記入のうえ、募集要項のみ請求する場合には240円、大学案内も同時に請求する場合には390円に払込手数料100円を添えて、お近くの郵便局に申し込んでください。

### (2) 本学のホームページから請求

詳しくは本学ホームページ(www.hiroshima-cu.ac.jp)をご覧ください。  
 ※送料は、資料に同封された支払方法に従い、お支払いください。

### (3) テレメール(24時間受付)による請求

① 下記のいずれかに電話して、自動音声ガイダンスに従って操作してください。

インターネット(携帯電話・パソコン)の場合	電話の場合
(http://telemail.jp) 携帯電話、パソコンとも共通アドレスです。	IP 電話
QRコード ※対応する携帯電話で読み取れます。	大阪
	050-2015-0555 06-6222-0102

### (2) 資料番号(6桁)を入力またはプッシュしてください。

資 料	資料番号	備 考
大学案内及び入学選抜要項	566200	発表時期以前の申込は予約受付
推薦入学学生募集要項のみ	586210	発表時期以前の申込は予約受付
一般選抜学生募集要項のみ	586200	発表時期以前の申込は予約受付
大学案内及び一般選抜学生募集要項	546300	発表時期以前の申込は予約受付

### (3) あとはガイダンスに従って登録してください。

※送料は、資料に同封された支払方法に従い、お支払いください。

### (4) 本学に直接請求

(すべての募集要項共通)

受取人の郵便番号、住所、氏名を明記した返信用封筒(角形2号:33.2cm×24.0cm)に390円分の切手を貼付のうえ、「○○○学生募集要項請求」(○○○には、募集要項名を記入してください。)と朱書きし、下記へ申し込んでください。  
 【申込先】 〒731-3194 広島市安佐南区大塚東三丁目4番1号  
 広島市立大学事務局入試担当

【(1)、(2)、(3)での請求についてのお問い合わせ先】  
 TEL 06-6231-5992(月～金 9:30～18:00) 全国学校案内資料管理事務センター  
 【入学試験に関するお問い合わせ】  
 TEL 082-830-1503 E-mail:nyushi@office.hiroshima-cu.ac.jp 広島市立大学事務局入試担当